



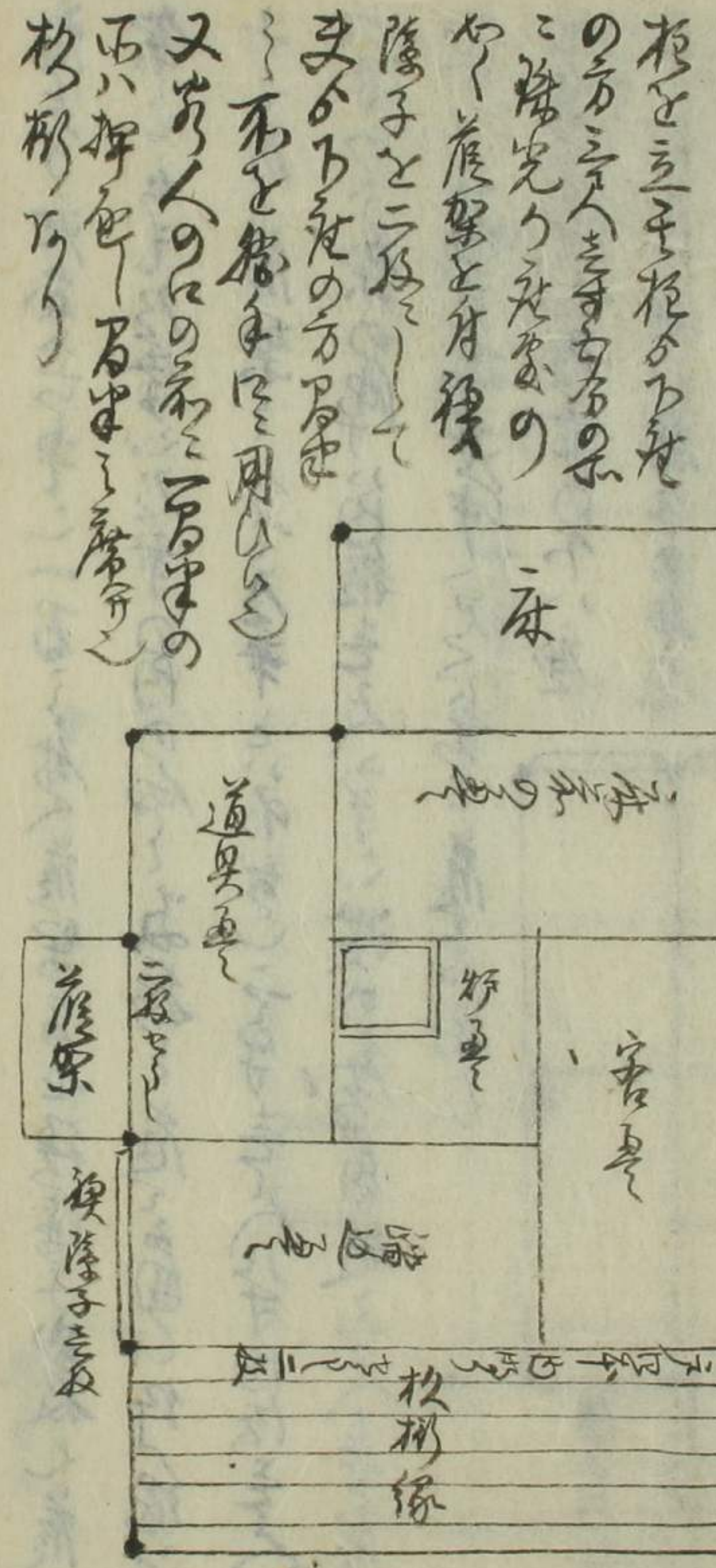
茶の叢書

十七

7多9
674
7/16

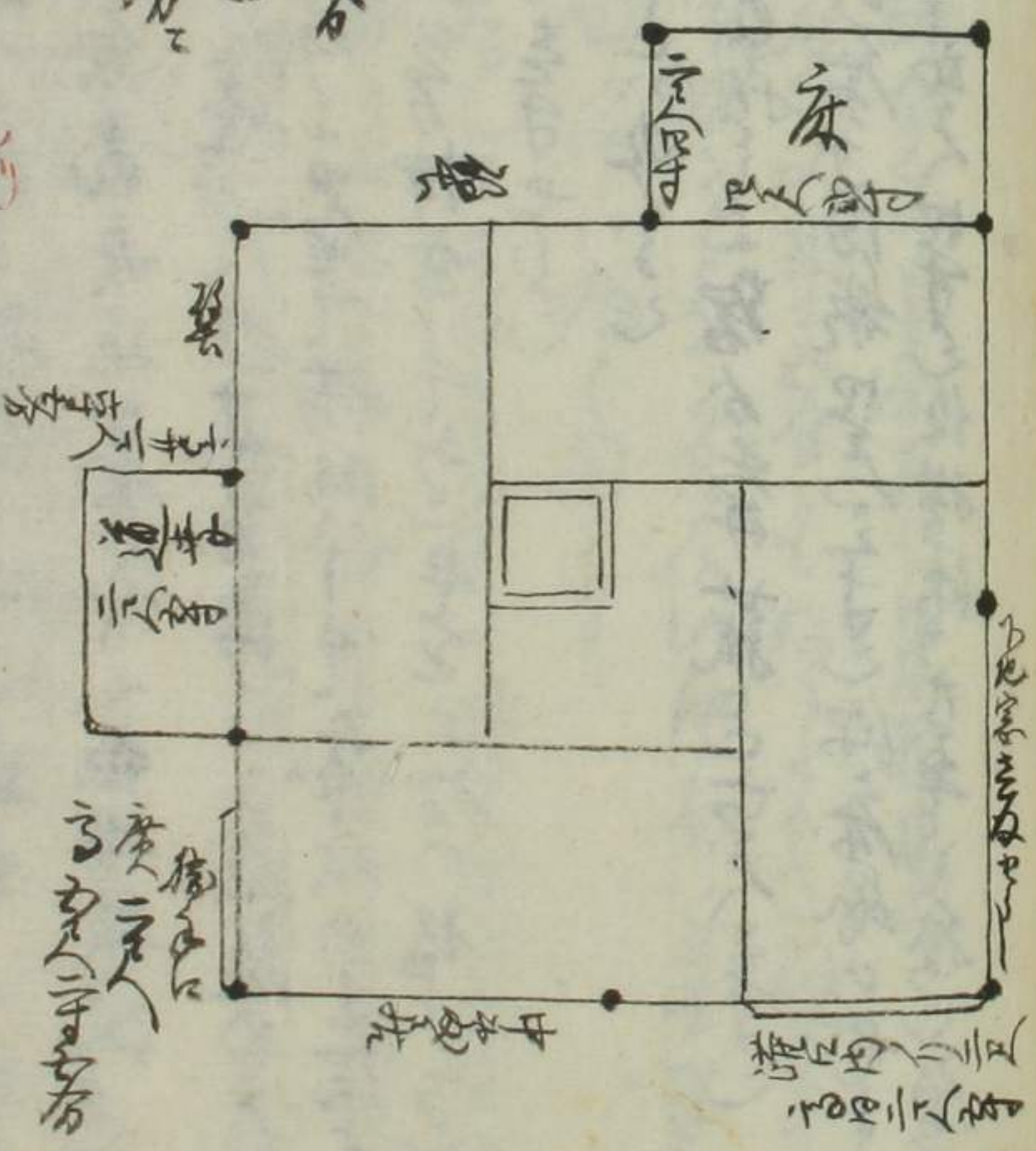


宿務の地味は四角を以て其の隅に五井の井ありて其の隅に
 入口を有し其の隅に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 白地にして其の隅に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 溝の地味ありて其の隅に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて



又其の人の口の角に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 又其の人の口の角に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 又其の人の口の角に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 又其の人の口の角に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて

宿務の地味は四角を以て其の隅に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 宿務の地味は四角を以て其の隅に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 宿務の地味は四角を以て其の隅に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて
 宿務の地味は四角を以て其の隅に五井の井ありて其の隅に五井の井ありて



左に於ては、是れは、日板形と云ふたに、自然に新目と云ふ事有る
日あてつ先より、遠く九右に方より、わらわは、板を、抗し、上、廻る、事
七、カ、ウ、リ

造りて、板、板、年、さ、の、板、を、層、と、履、き、ぬ、と、遠、を、し、て、上、人、の
居、板、こ、け、板、履、の、の、ろ、ろ、あ、共、通、る、面、に、入、り、て、但、横、板、こ、い、に、二、
尺、の、板、こ、い、し、上、下、に、九、右、に、方、を、開、き、し、方、本、者、落、し、て、履、後、の、下、廻、
の、板、は、板、の、本、目、と、し、上、下、に、又、是、を、横、板、こ、い、と、あ、板、の、上、廻、り、
上、下、に、し、て、又、上、下、に、開、き、し、上、下、に、押、合、し、て、打、こ、し、を、上、廻、の、板、と、し、
上、下、の、板、を、抗、し、し、上、下、に、開、き、し、
板、が、地、を、抗、し、し、上、下、に、開、き、し、

左に、天井、の、こ、い、地、を、抗、し、し、上、廻、を、再、敷、と、云、ふ、事、有、る、
床、こ、い、上、下、に、横、の、板、を、内、敷、は、り、し、し、上、下、に、横、板、の、内、目、
向、け、地、を、抗、し、し、の、内、目、の、こ、い、上、下、に、開、き、し、但、横、板、は、上、下、に、横、こ、い、を、
し、

と、言、は、れ、板、の、は、り、を、分、中、に、床、板、は、ら、本、板、也、

床、上、の、こ、い、事、上、下、に、又、事、有、る、事、有、る、事、有、る、事、有、る、事、有、る、
事、上、下、に、又、事、有、る、事、有、る、事、有、る、事、有、る、事、有、る、
但、而、し、上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、

床、の、板、を、抗、し、し、上、下、に、開、き、し、又、事、有、る、事、有、る、事、有、る、
又、事、有、る、事、有、る、事、有、る、事、有、る、事、有、る、
上、下、に、開、き、し、但、横、板、は、上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、
上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、

床、の、上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、

床、の、上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、
床、の、上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、
床、の、上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、
床、の、上、下、に、開、き、し、上、下、に、開、き、し、

一 白藤子(貴)花を(豊)田中(推)而(信)物(下)ふ(目)に
 切り(白)草(女)汗(ら)を(新)敷(せ)る(り)
 一 花(中)に(定)無(あ)ら(ぬ)花(野)花(の)花(柳) (ら)る(る)サ(押)並(て)九(右)
 り(り)なり
 一 客(者)の(後)に(方)を(右)に(ま)し(ま)し(中)に(花)と(ま)す(と)花(を)床(の)花
 と(の)右(押)重(し)て(竹)連(子)に(花)あ(花)か(あ)花(と)し(智)と(言)す
 或(人)等(す)し(あ)花(と)し(房)か(花)と(田)能(武)人(三)守(能)中
 の(花)の(下)地(定)に(立)法(と)用(た)し(花)定(方)あ(花)し(て)并(連)
 子(の)定(と)目(あ)し(野)花(は)ま(子)定(と)目(あ)し(野)花(は)ま(子)あ(り)
 或(す)身(も)下(ケ)て(の)あ(り)し
 一 列(し)方(側)上(定)し(下)も(花)定(立)け(花)と(藤)子(の)立(法)と(し)て
 下(地)定(立)法(は)竹(の)花(也)
 一 定(の)定(る)定(法)を(一)本(の)足(右)行(要)し(但)定(の)助(竹)は(な)し(も)
 下(の)切(ぬ)ら(ち)す(也)花(を)定(て)あ(花)の(下)に(竹)の(切)ぬ(ら)ち(す)也(也)

但(上)右(も)二(の)足(右)なり

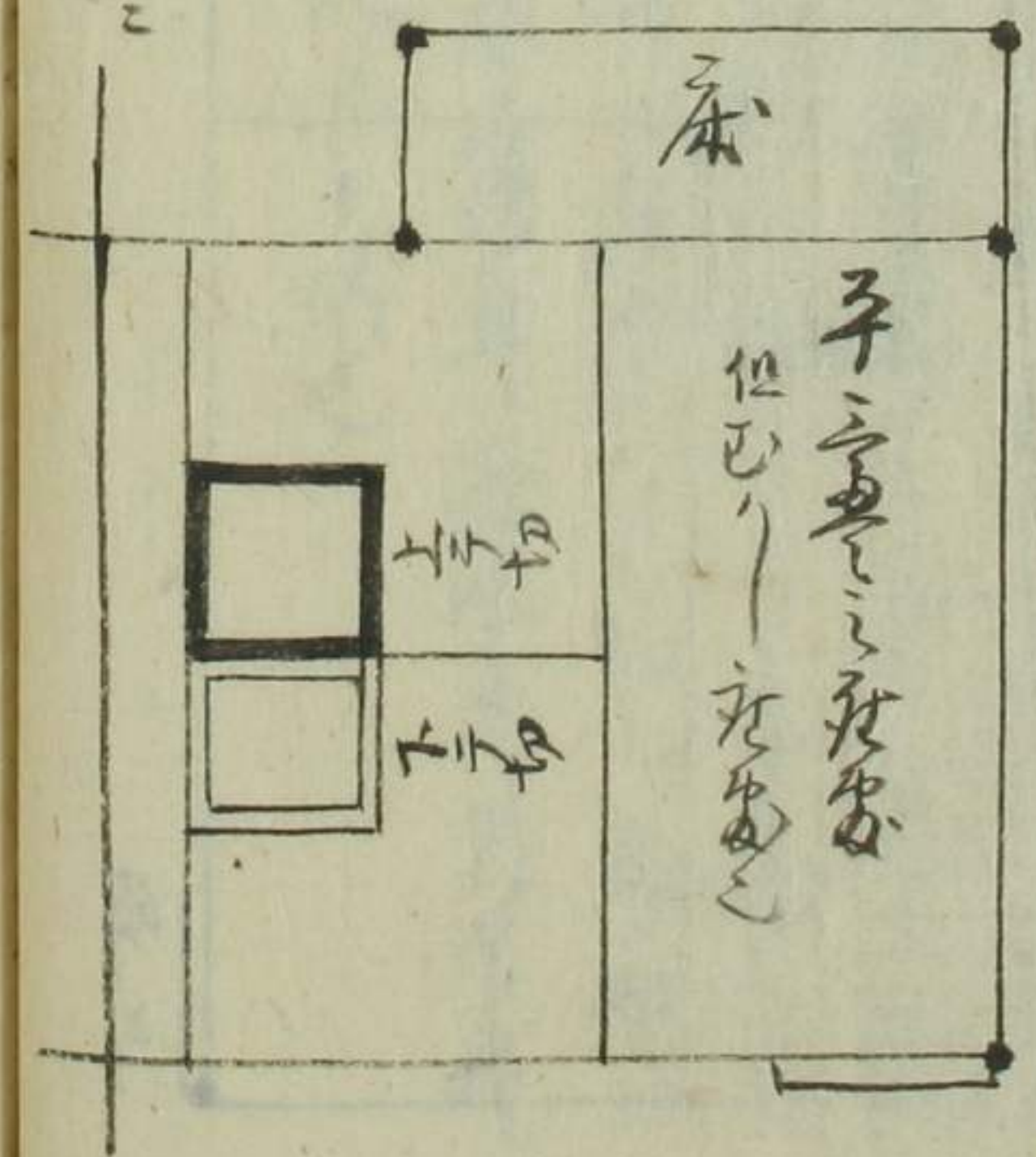
一 藤(花)は(定)無(し)り(押)並(て)藤(花)也
 一 乃(昔)に(立)法(の)花(を)床(の)中(の)花(と)の(右)押(重)し(て)白(草)を(女)
 る(り)し(守)或(方)の(言)并(し)て(定)く(法)し(て)但(法)は(今)を(目)き(方)に
 法(一)
 一 四(者)中(に)其(の)あ(花)は(床)花(の)方(と)し(表)を(あ)し(但)面(と)ハ
 花(と)し(方)と(し)し(花)中(に)あ(花)花(目)方(方)を(推)重(し)る(り)て(定)し
 何(も)花(中)の(定)の(あ)花(目)也(也)
 一 花(と)袖(を)ハ(及)を(其)の(際)に(花)目(と)ん(花)と(あ)し(た)花(は)右
 側(に)た(と)上(花)床(に)花(を)ま(す)る(る)床(花)花(を)ま(す)と(表)
 客(者)等(踏)進(身)道(具)也(何)も(花)花(の)定(の)こ(と)く(と)し(定)也(也)
 初(云)等(と)し(表)は(何)附(も)上(と)方(と)し(及)は(藤)花(の)方(と)し(と)る(り)ハ
 列(る)り(なり)

亭もほろ方徳也。修りて足さよらんとて大概ハ作言子
 陸のー又け作言なる凡知を習得する知とさき凡知を
 作付ハ必後知して主知也。但凡知を獲て主知も兼得ハ
 作後の凡知もその主知也。この二つはけ作言その作言も
 宗易の付くといはるやうにこれをも兼得の切不互進
 といふとさき果と修らるる也

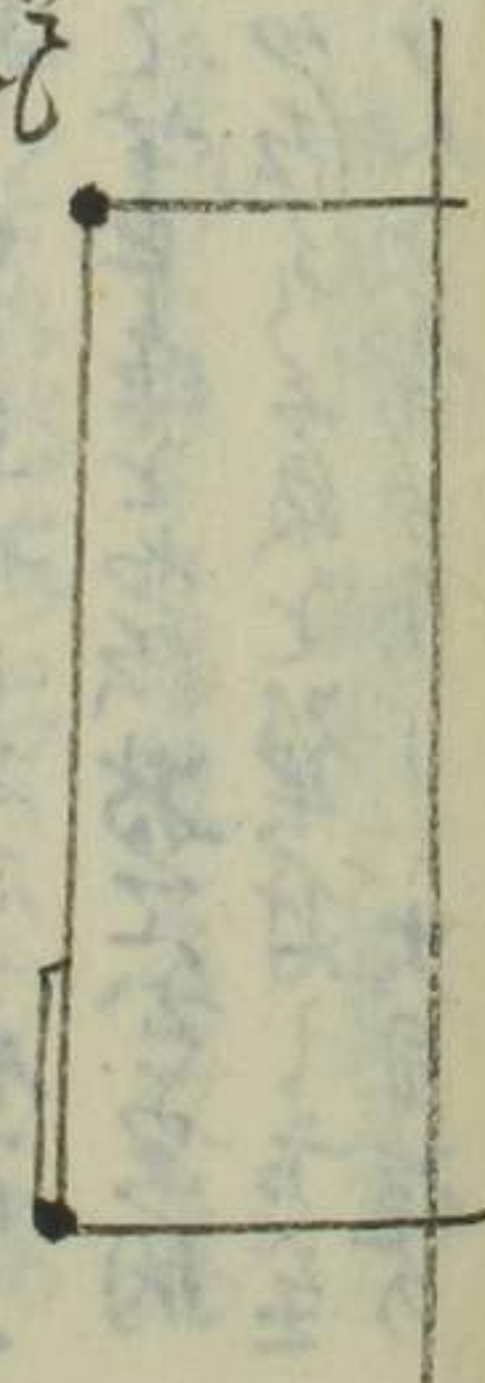
一 平らまをむく作言

但昔作言ある

吾も亦作言あると修らるる也
 け作言知とよして切下を切と
 するも但昔作言あると修らるる也
 作言とよして切とよして又たさき
 切と下を切とよして世修言し人ハ



切と下を切とよして世修言し人ハ
 知とよして切とよして又修言する子之
 するも但昔作言あると修らるる也



子之をむく作言とよして切とよして又修言する子之
 するも但昔作言あると修らるる也
 又宗易の付くといはるやうにこれをも兼得の切不互進
 といふとさき果と修らるる也
 作言とよして切とよして又修言する子之
 するも但昔作言あると修らるる也

一 平らまをむく作言
 吾も亦作言あると修らるる也
 け作言知とよして切下を切と
 するも但昔作言あると修らるる也
 作言とよして切とよして又たさき
 切と下を切とよして世修言し人ハ

乃地等と云ふなり

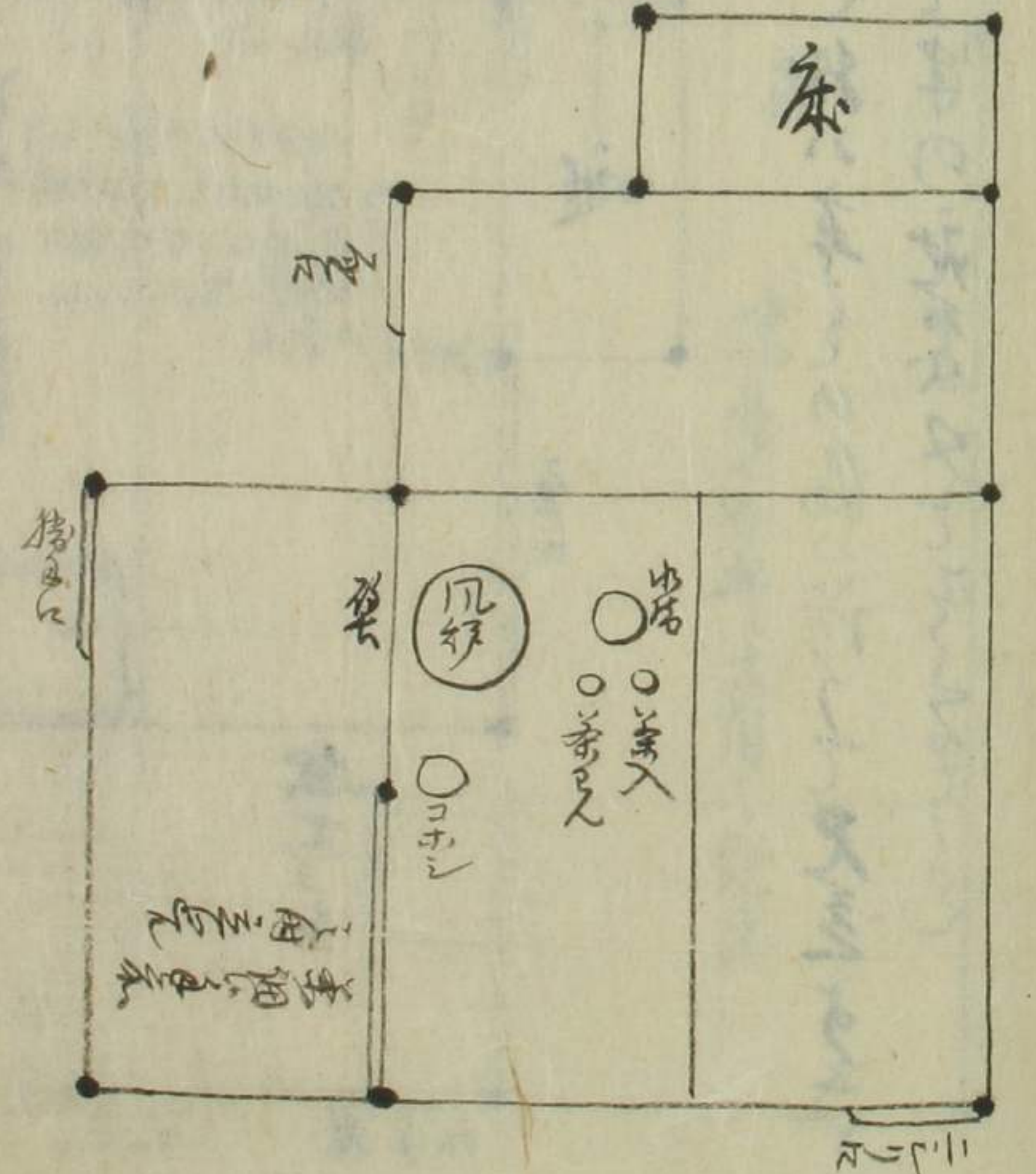
字はけし可きなり

とてハ備へる儀をかくとて好の端々をてんを中柱と爲す
中柱の横桁を入れてその下と床平なる一室を造り付け
附ハ横桁の板板板の横桁を附ハ板の下の字を
付け板を造りの造り及て其の向とさへ入力を有す切て
板板板入七寸或る事として大目取るとも付板は口とこ
とてのこ〜とて付てらる大目構中柱の建てるた〜と
初て知れりなり

一 二重の床の造り方

大なる事を造りたて〜の桁の付らる〜と〜のこ〜と
と〜の造り方〜の付いたの造り方〜の造り方〜と〜

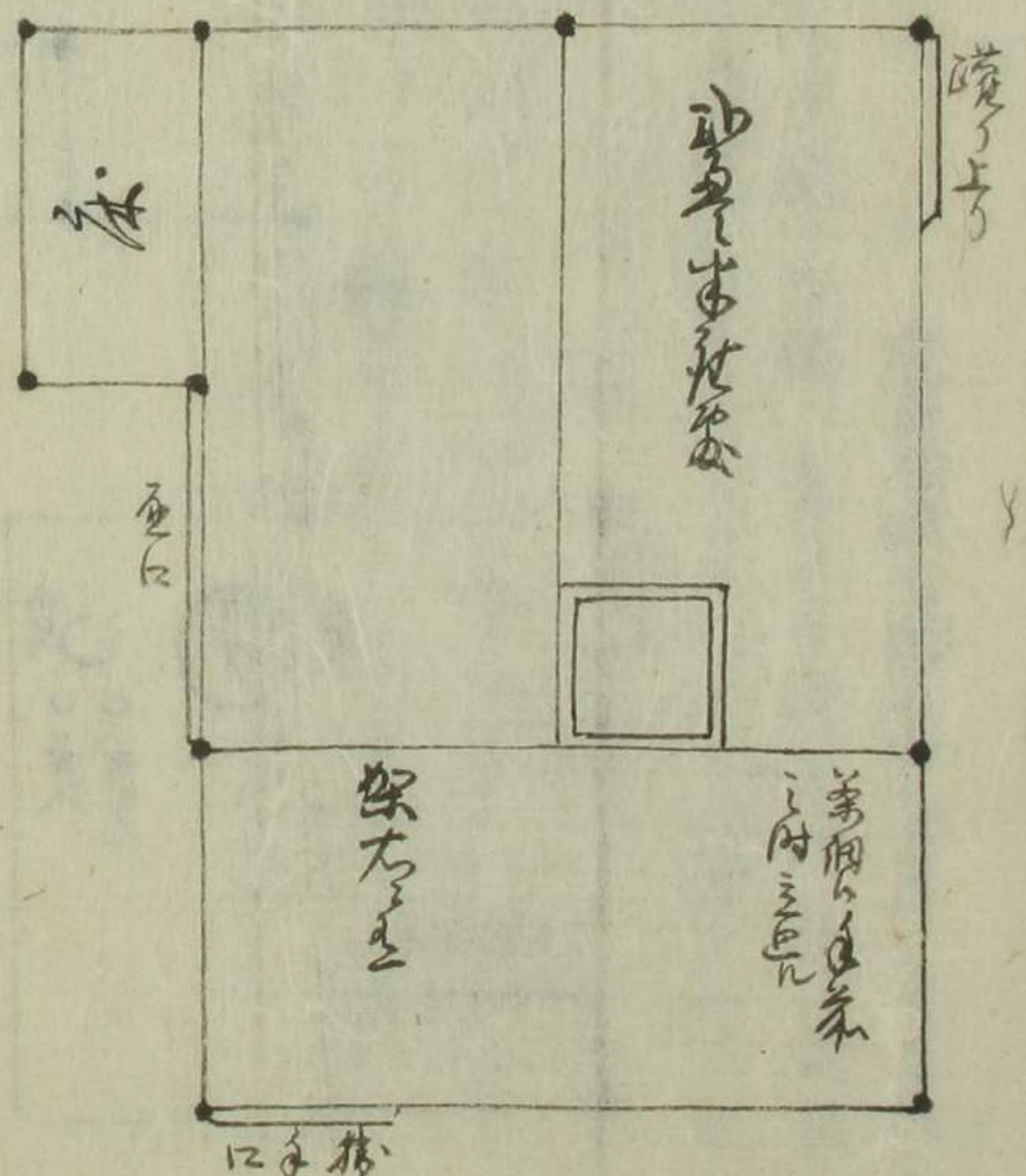
造り方の造り方として
中柱の桁と二重の床の造り
とととととと



一 砂をまきし 社殿 但書

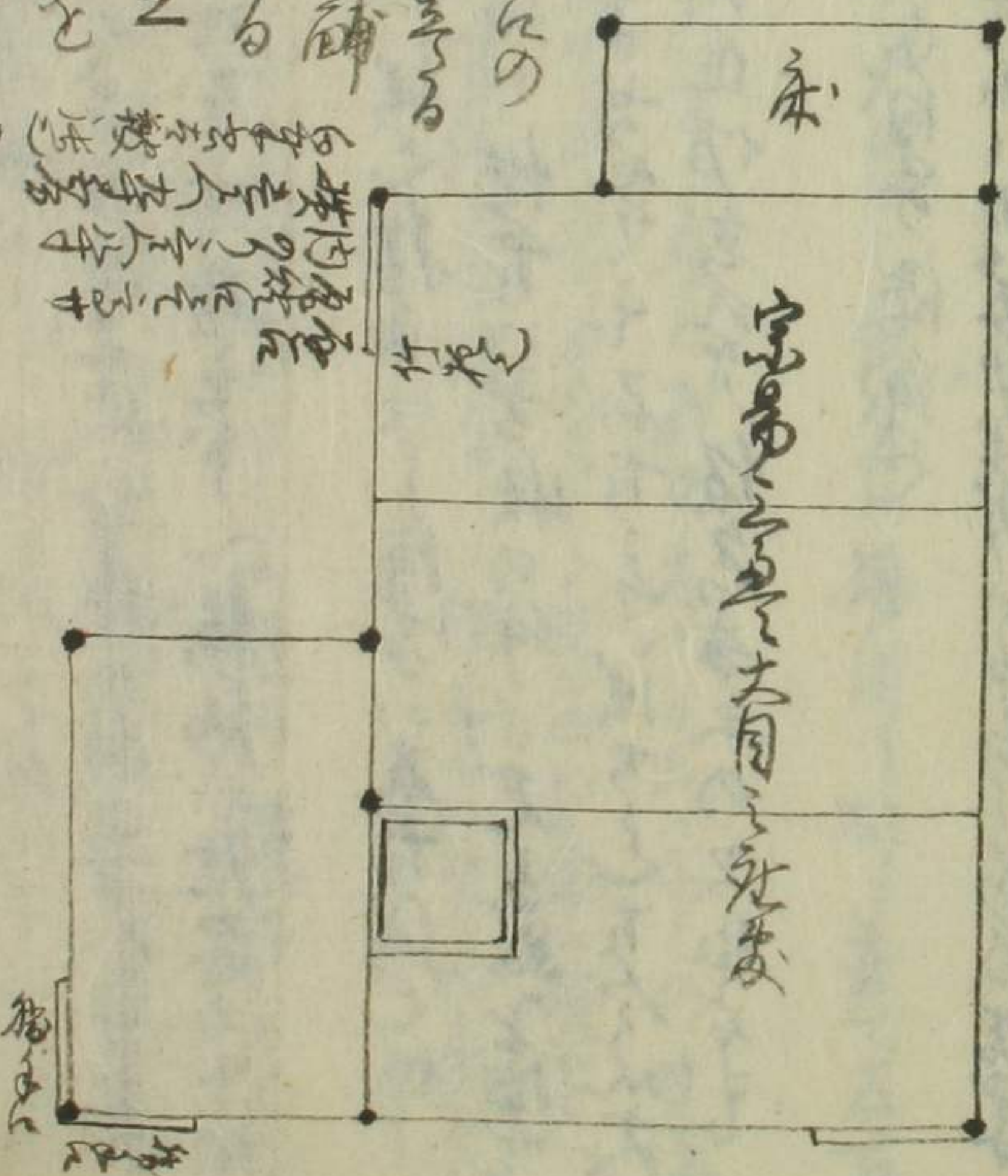
社殿の
 大砂をまきし社殿の
 土をまきし社殿の中を
 土をまきし社殿の中を
 凡砂の母の丸砂をまき
 社殿とらゆてまきと
 社殿とらゆて風砂とは
 大月の丸く掘りて社
 殿とらゆ

大砂をまきし社殿の
 土をまきし社殿の中を
 風砂ハ必掘りてまきし社殿
 土をまきし社殿の中を
 掘りてまきし社殿の中を



一 宗廟の御意のこころ

大目ハ昔社殿のこころ
 半の道具大目ハ向と
 大目ハ昔社殿のこころ
 半の道具大目ハ向と
 大目ハ昔社殿のこころ
 半の道具大目ハ向と



一 社殿の御意のこころ

大目ハ昔社殿のこころ
 半の道具大目ハ向と
 大目ハ昔社殿のこころ
 半の道具大目ハ向と
 大目ハ昔社殿のこころ
 半の道具大目ハ向と

此の條は白くありて必し四方に付て但しに
廣く横内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

一 色白くは尾能く白くして是れ内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

一 色白くは尾能く白くして是れ内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

一 色白くは尾能く白くして是れ内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

一 色白くは尾能く白くして是れ内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

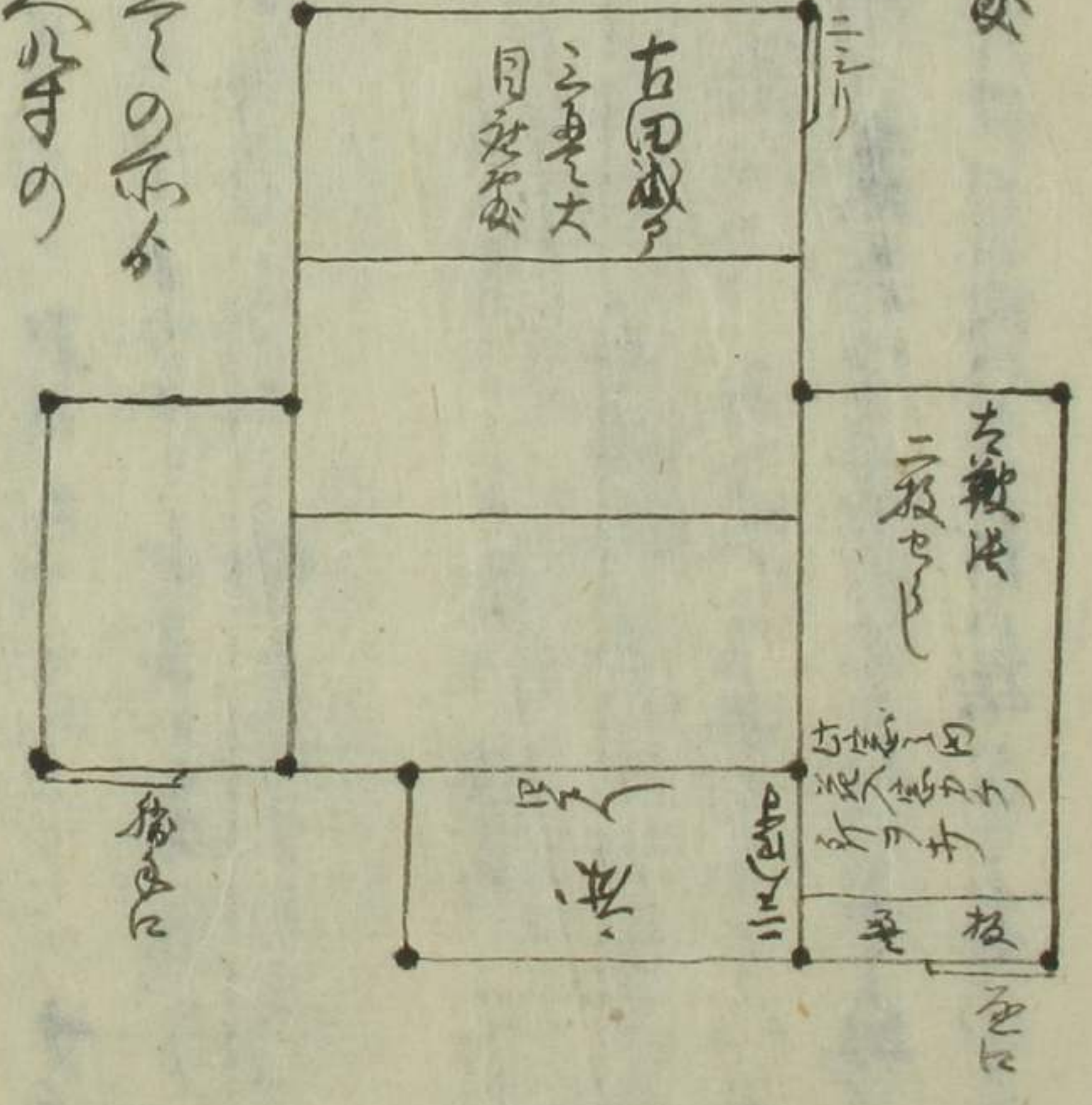
一 色白くは尾能く白くして是れ内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

一 色白くは尾能く白くして是れ内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

一 色白くは尾能く白くして是れ内能く人ありて横内能く人ありて横子の
際初とせば此方七の目と切し

一 古田蔵戸二つを二大目付を

付たぞめたる必す形勢を中し
 以後三形勢よりいけせよかれ
 古田蔵戸二つを二大目付
 する。色紙と上宗と
 以上は後の甘酒板を入
 色紙の反古居の蔭を
 取板三つまたが猪よりの
 方、丸き身をこまらま
 子余り、色紙板を入板を
 横き人九寸四方のサ
 尾紙の色の色紙を付
 下付り。蔭を寄ハ泥
 左側は二限路ハ



二限路ハ

一 指口は四方より二横内能動人二井内能動人二井内能動人二井内能動人

の指口は四方より二横内能動人二井内能動人二井内能動人二井内能動人
 くる。色紙と上宗と
 以上は後の甘酒板を入
 色紙の反古居の蔭を
 取板三つまたが猪よりの
 方、丸き身をこまらま
 子余り、色紙板を入板を
 横き人九寸四方のサ
 尾紙の色の色紙を付
 下付り。蔭を寄ハ泥
 左側は二限路ハ

色付の女流玉井線形もあ方の角端を丸くしたるを
の上も押をして女流玉井也

形は方ハききききと上角根裏也

竹極を本と申すは本と申すは上字をけり定易の
道易の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

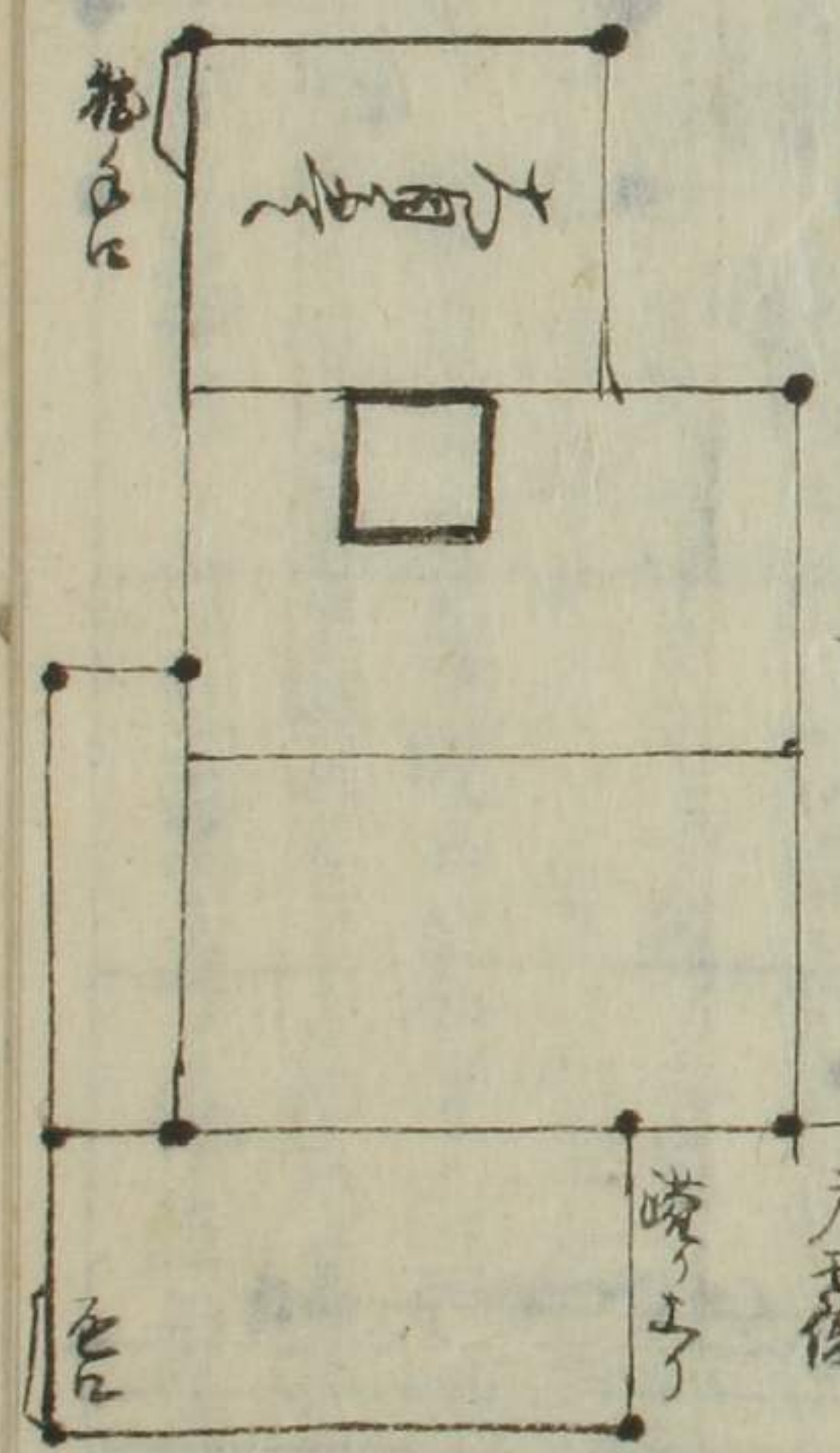
上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也

上角根裏の中のを紙意を以て方一と申すは上角根裏也



右田蔵ア

花の口

花の口

花の口

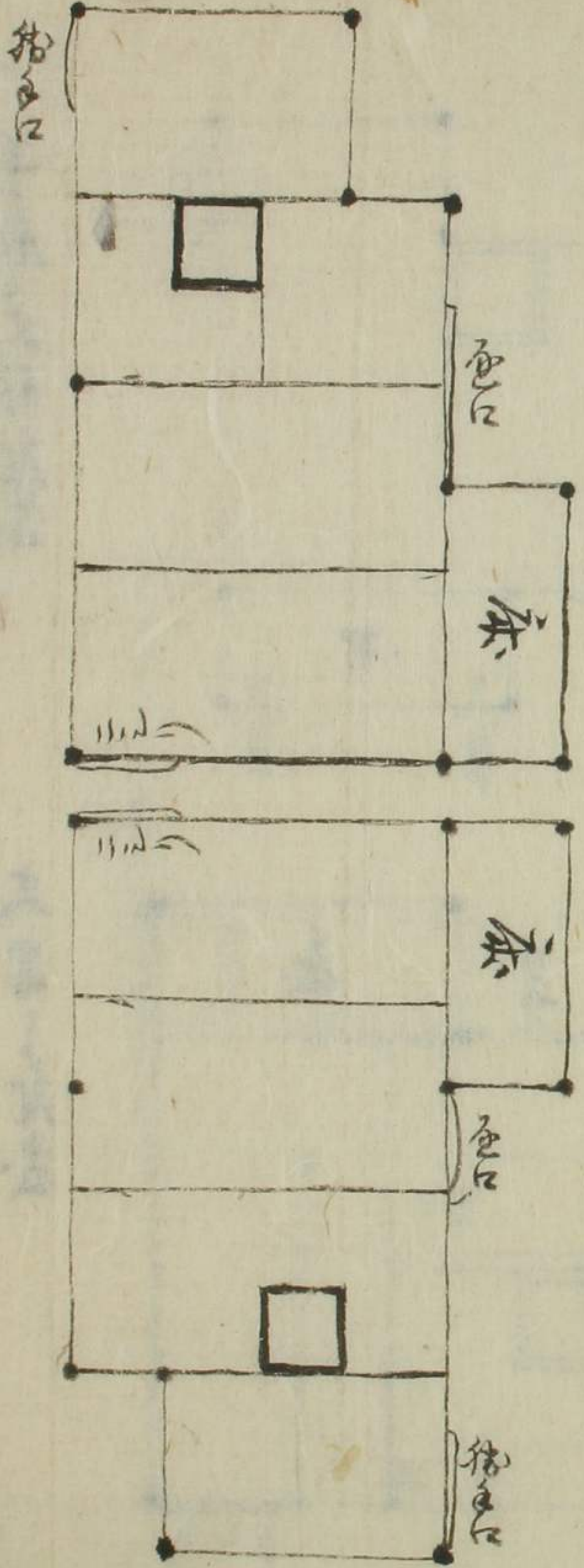
花の口

花の口

花の口

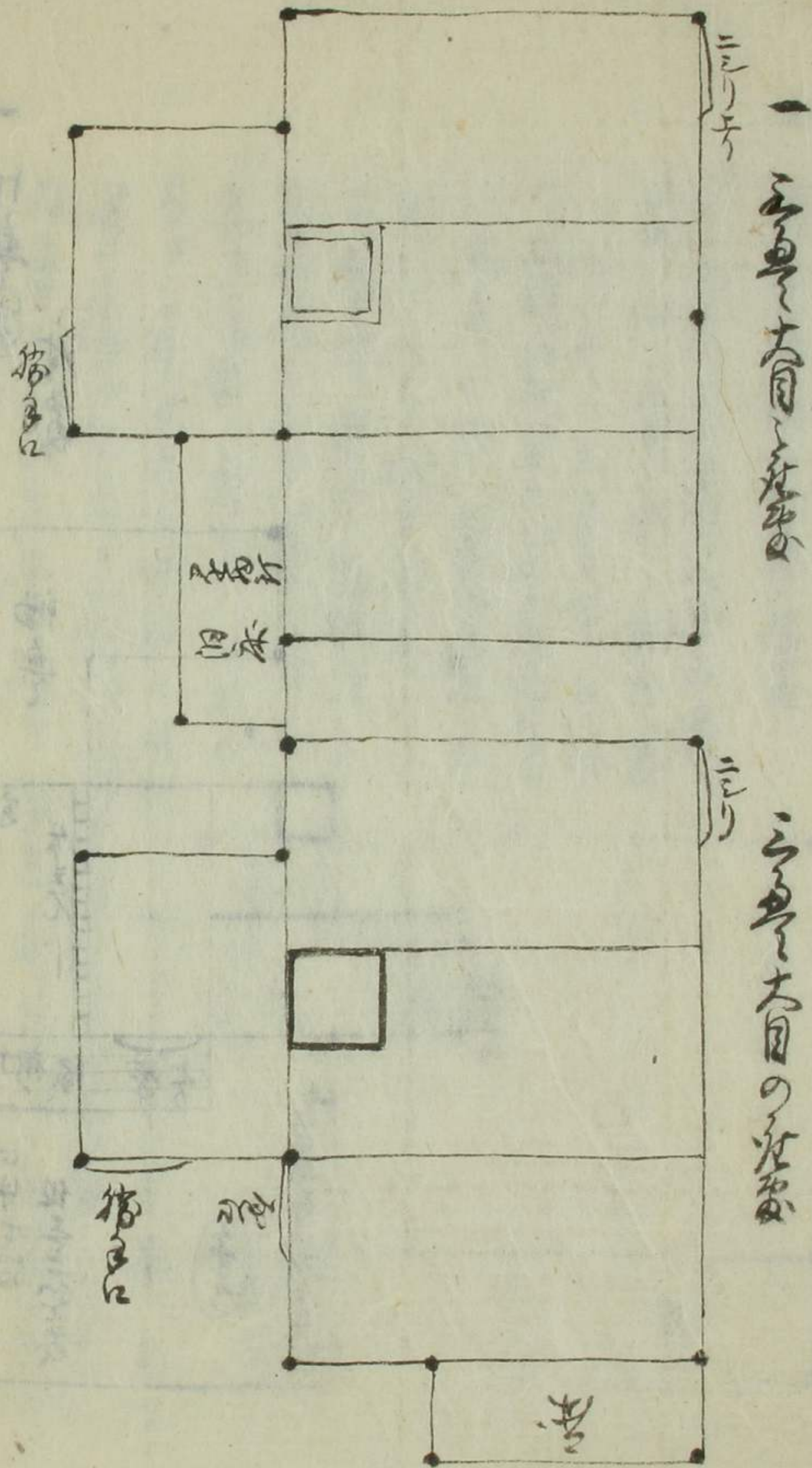
花の口

花の口



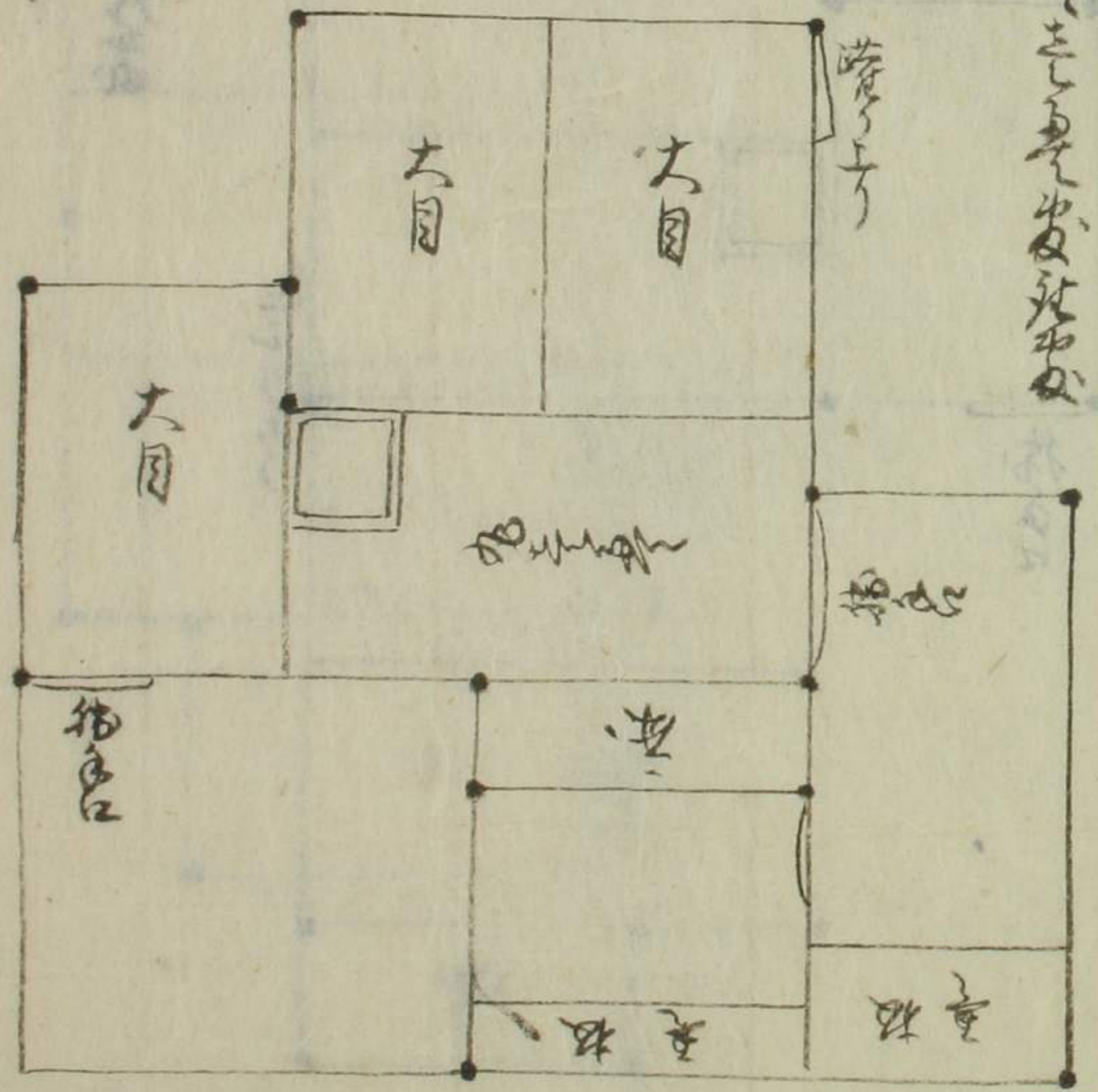
二層目大目柱敷上段敷

二層目大目柱敷

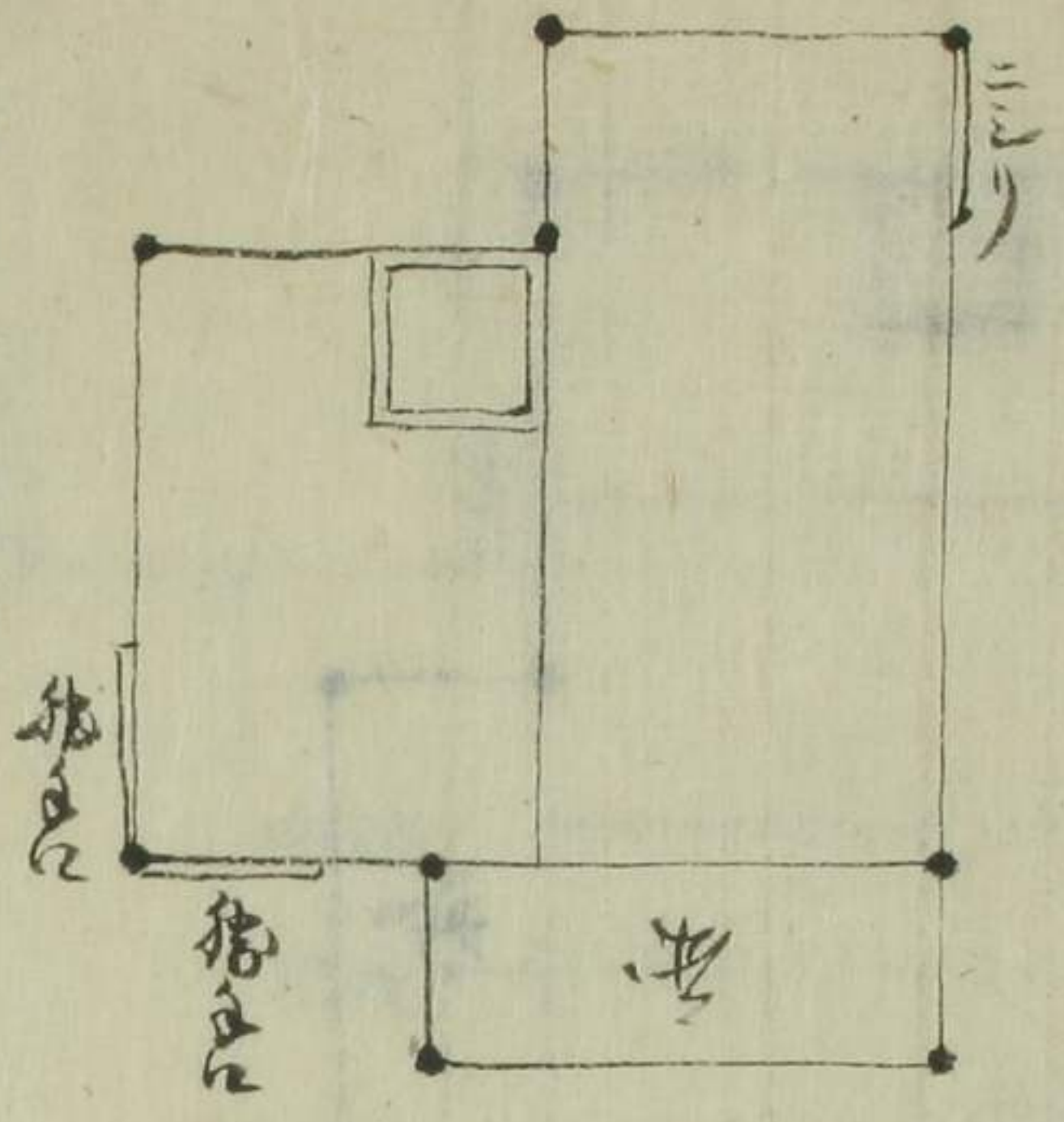


一層目大目柱敷

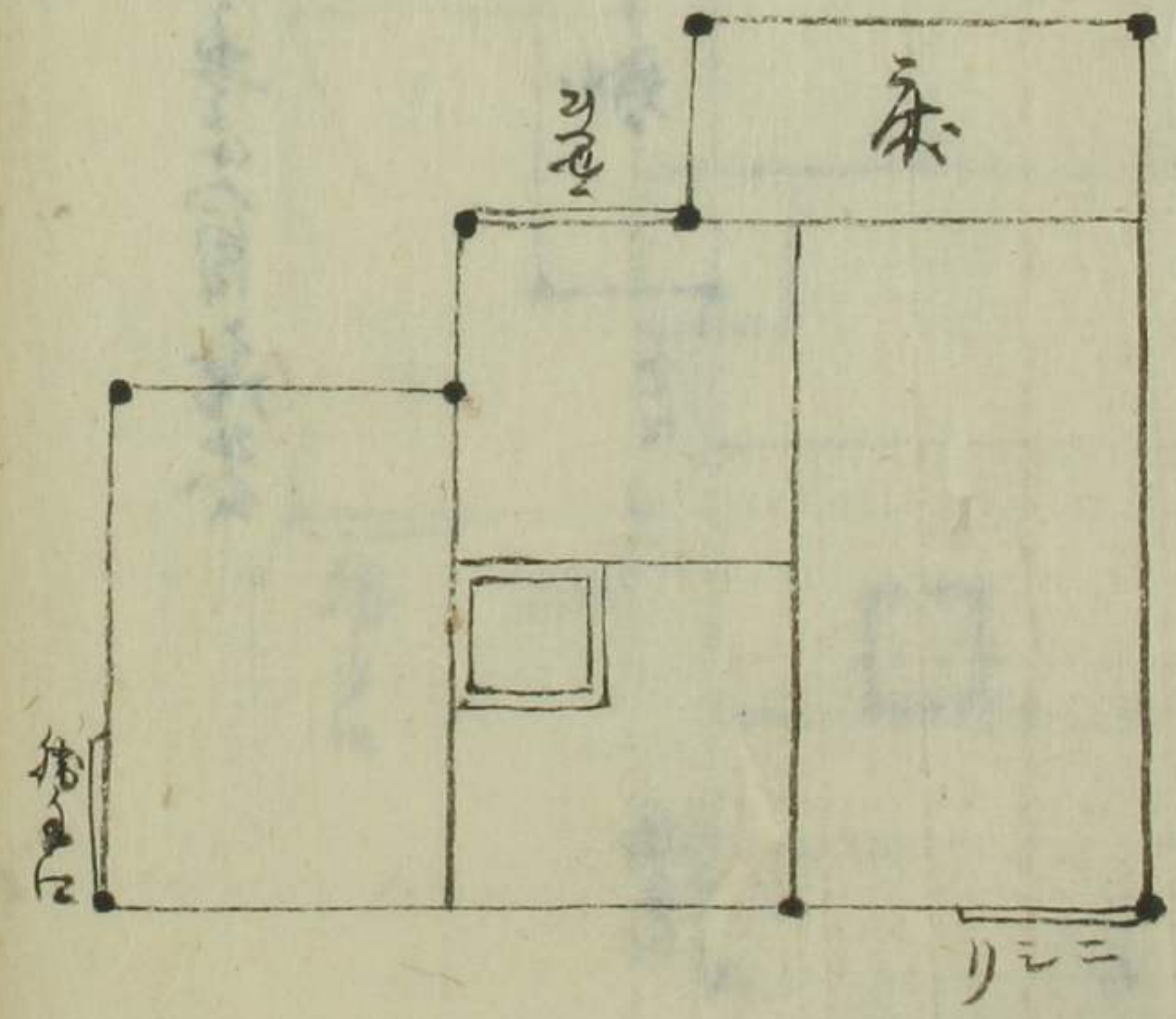
二層目大目の柱敷



一 大目と畳の部屋を二つに分けて畳を敷き足す

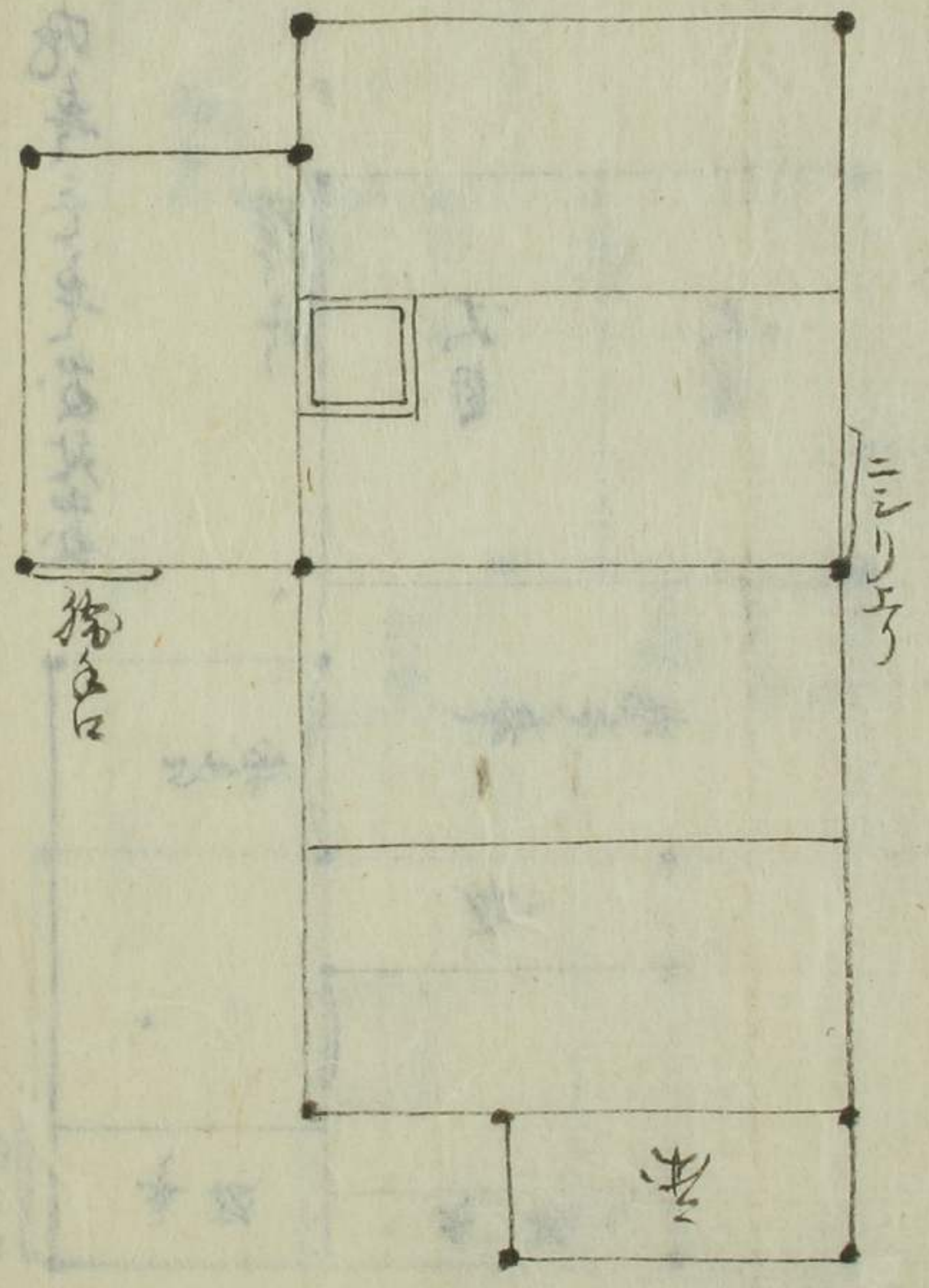


一 大目と畳の部屋を二つに分けて畳を敷き足す

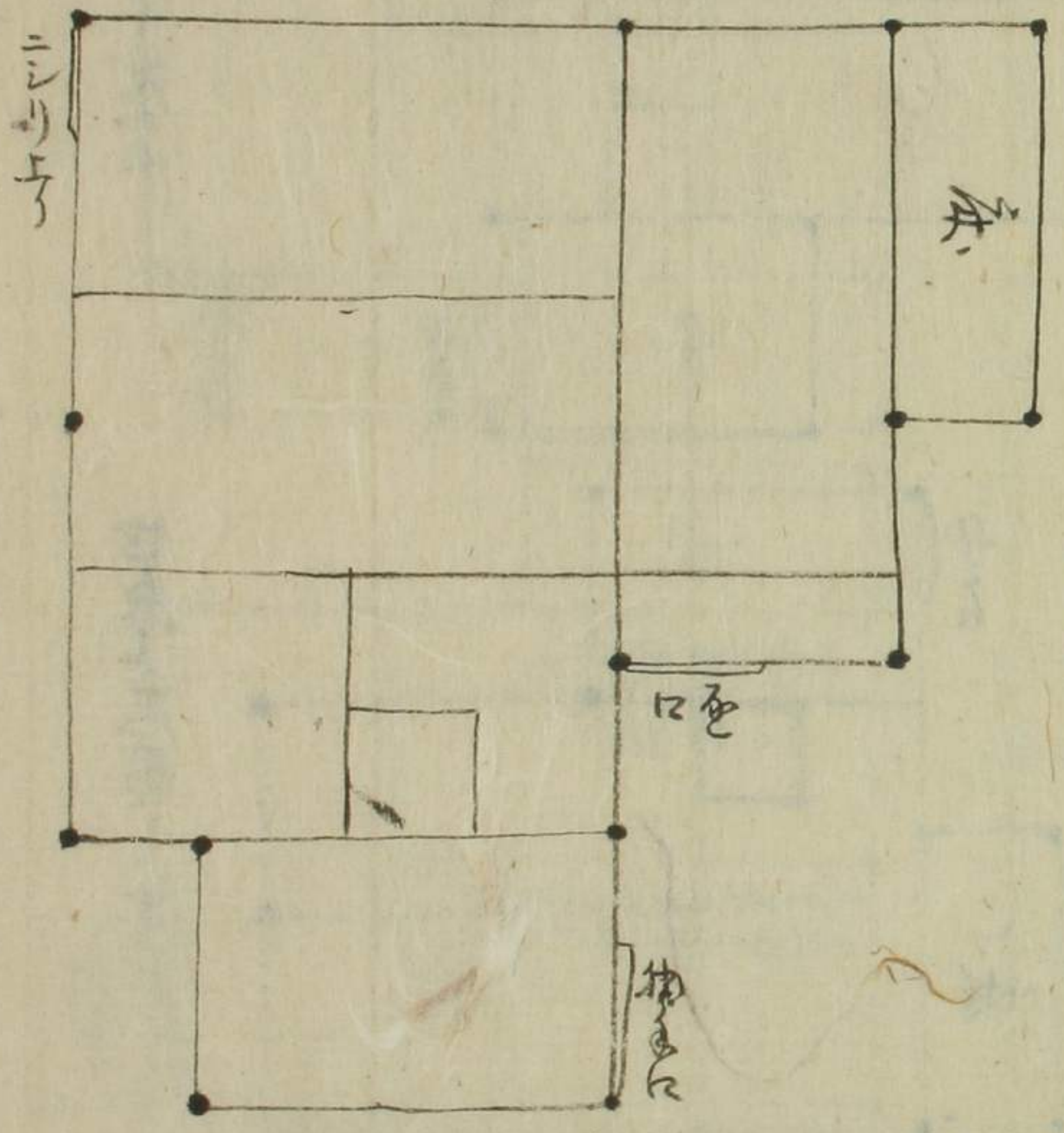


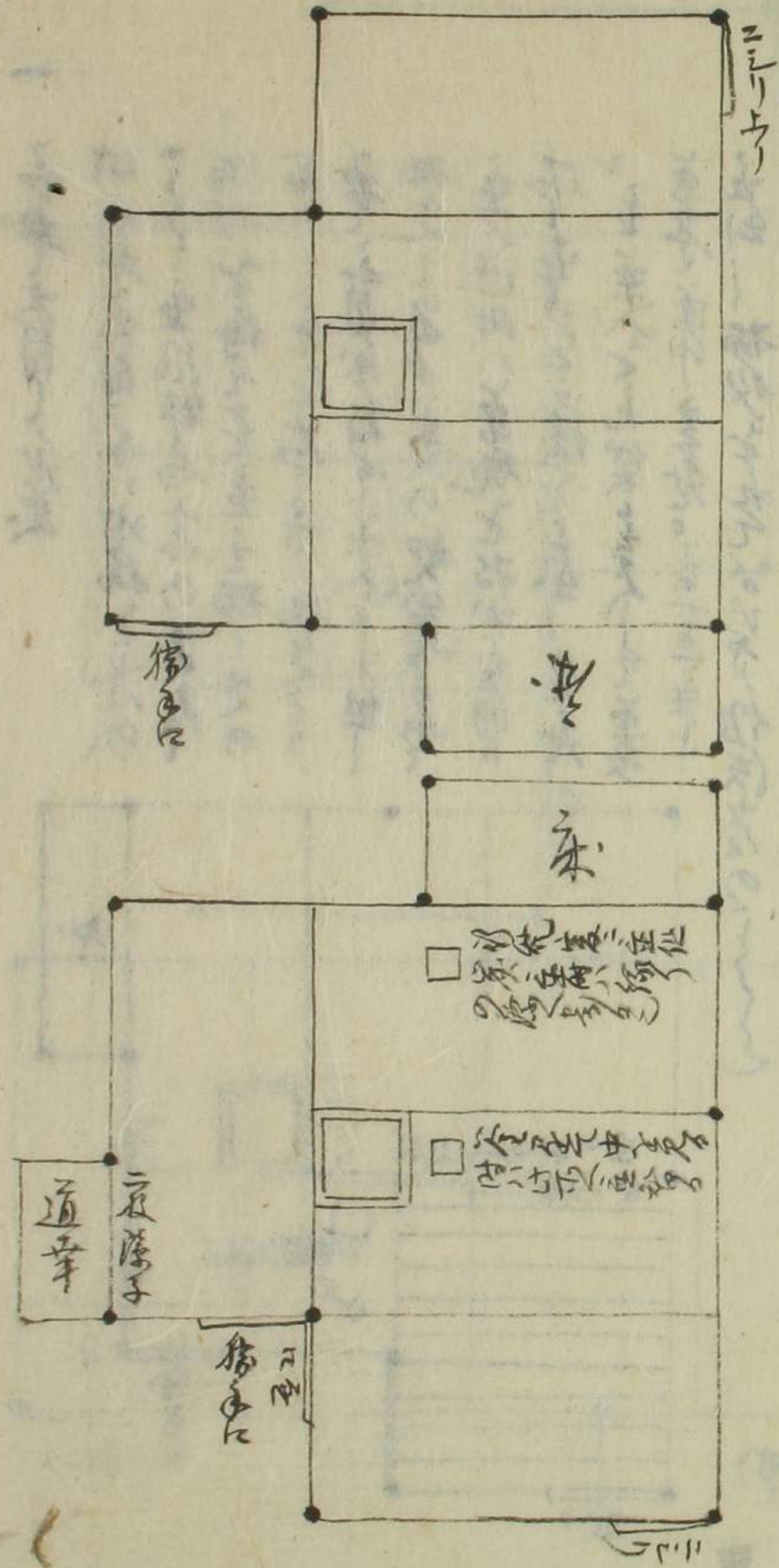
大目と畳の部屋

一 北西より大月の経度



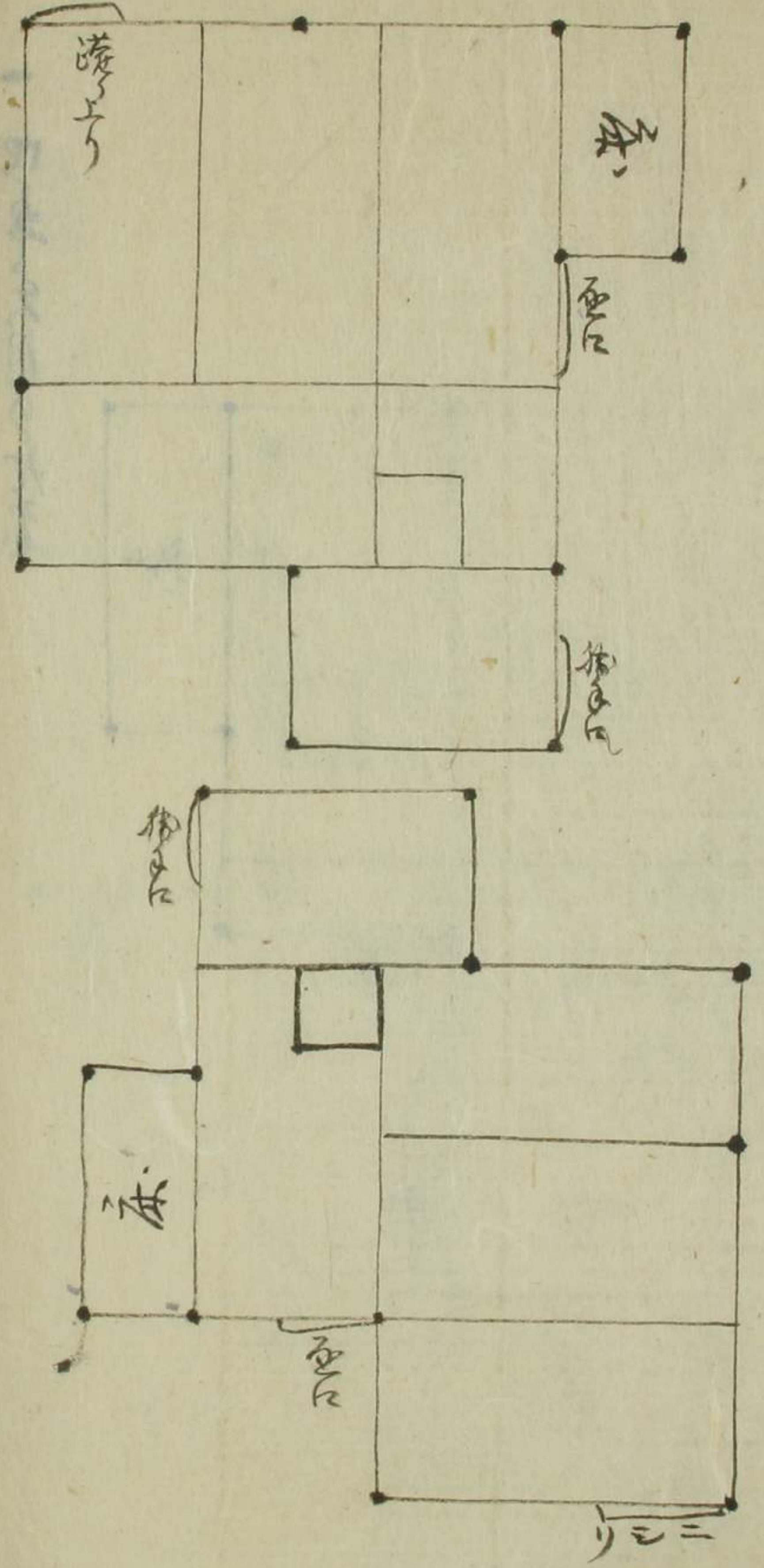
一 北東より大月の経度





一 御座 辰彦子

御座 辰彦子



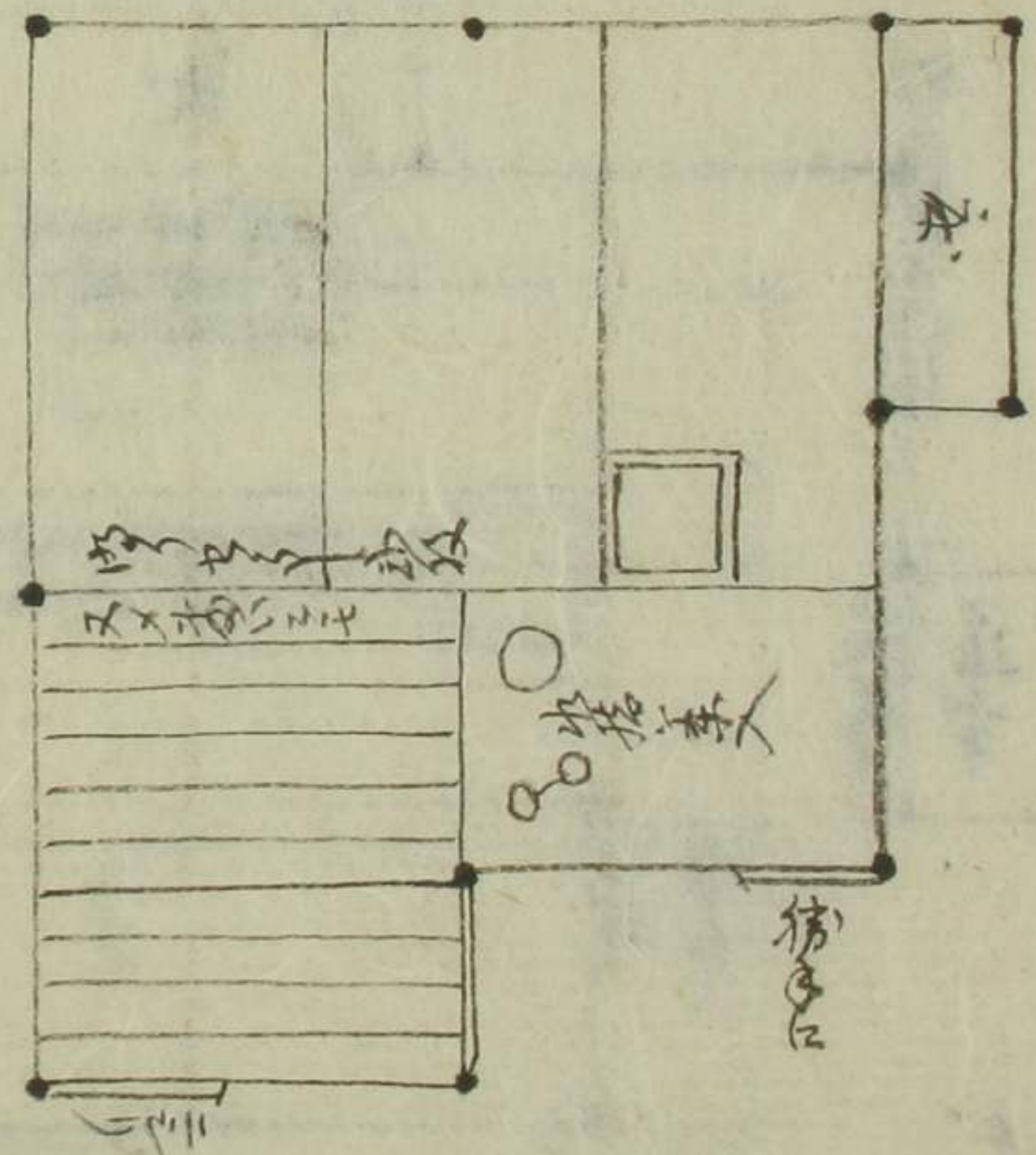
御座 辰彦子

御座 辰彦子

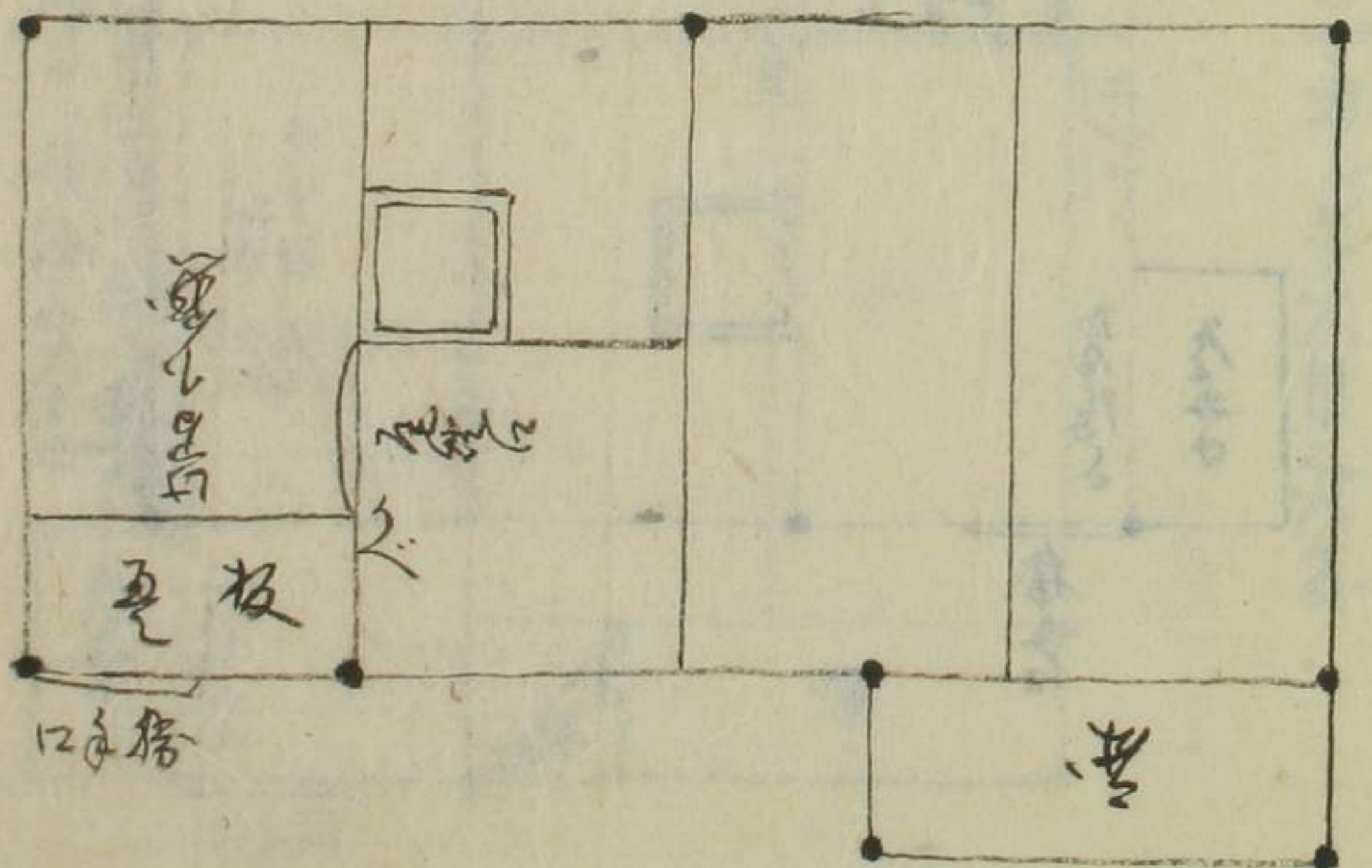
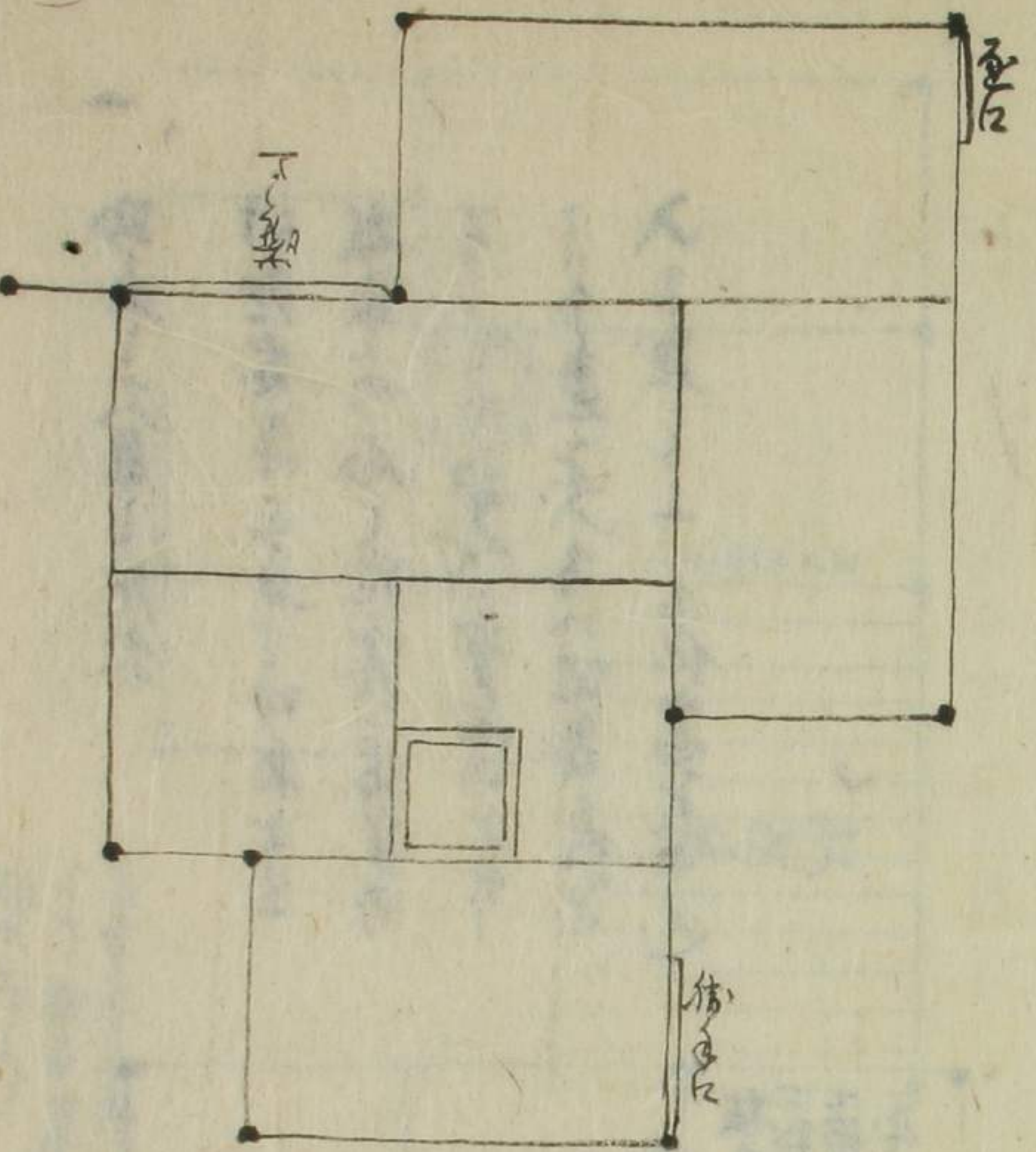
一 二重と大目と世並

け之五と大目と大目ゆ極と世並の
一と一と世風解向定窓の表板を
板板と板板とを並べて極と先の
甲うは色を太く一板と先より
五と之目解解して兼入を世並
極先と板板兼入の板板板板
一と一と板板と板板と板板と
板板と板板と板板と板板と
一と一と板板と板板と板板と
一と一と板板と板板と板板と
一と一と板板と板板と板板と

一 風解向のハ下地定う又ハ竹まき子ととも世並ひ方う

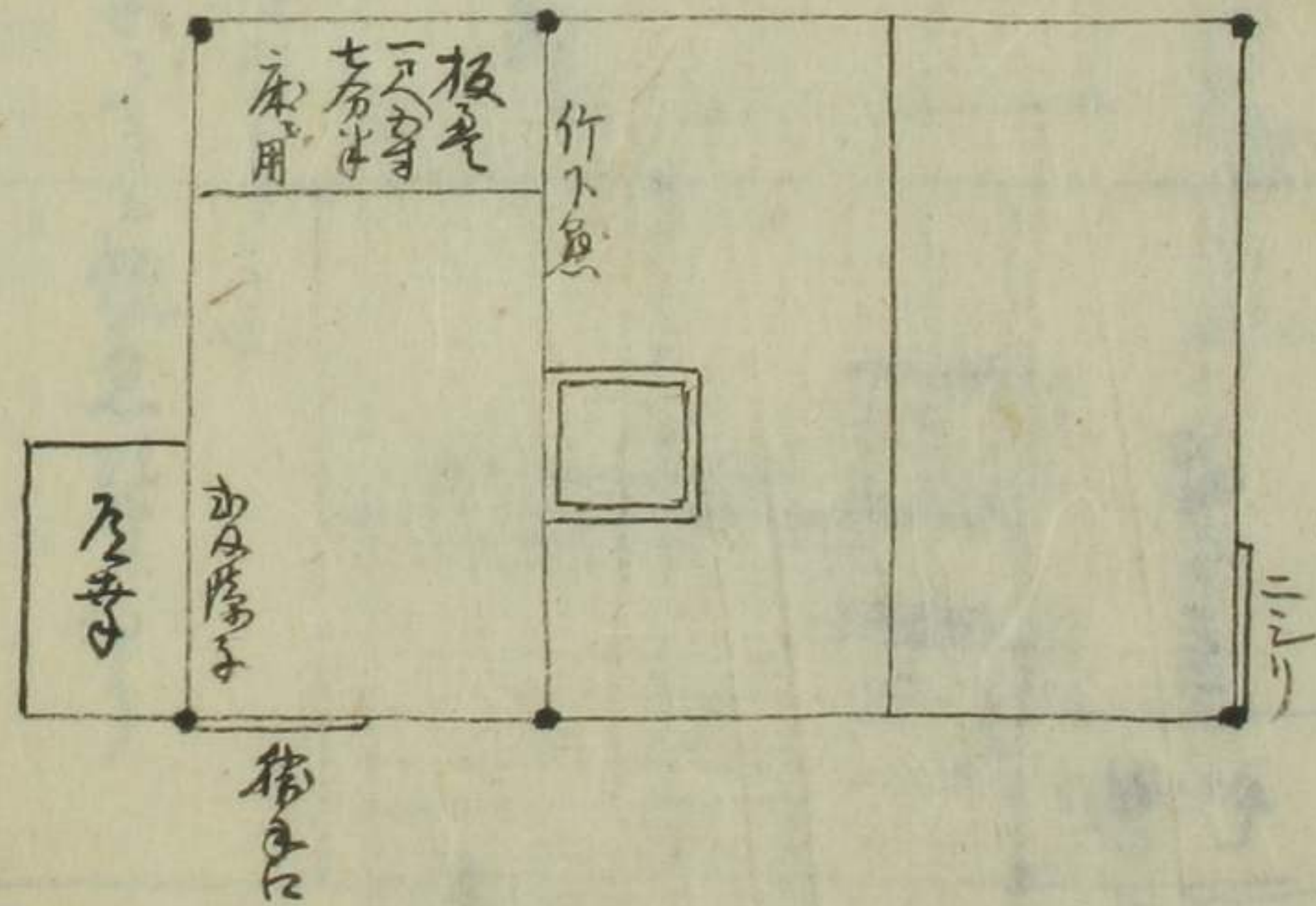


一 二重と大目と世並



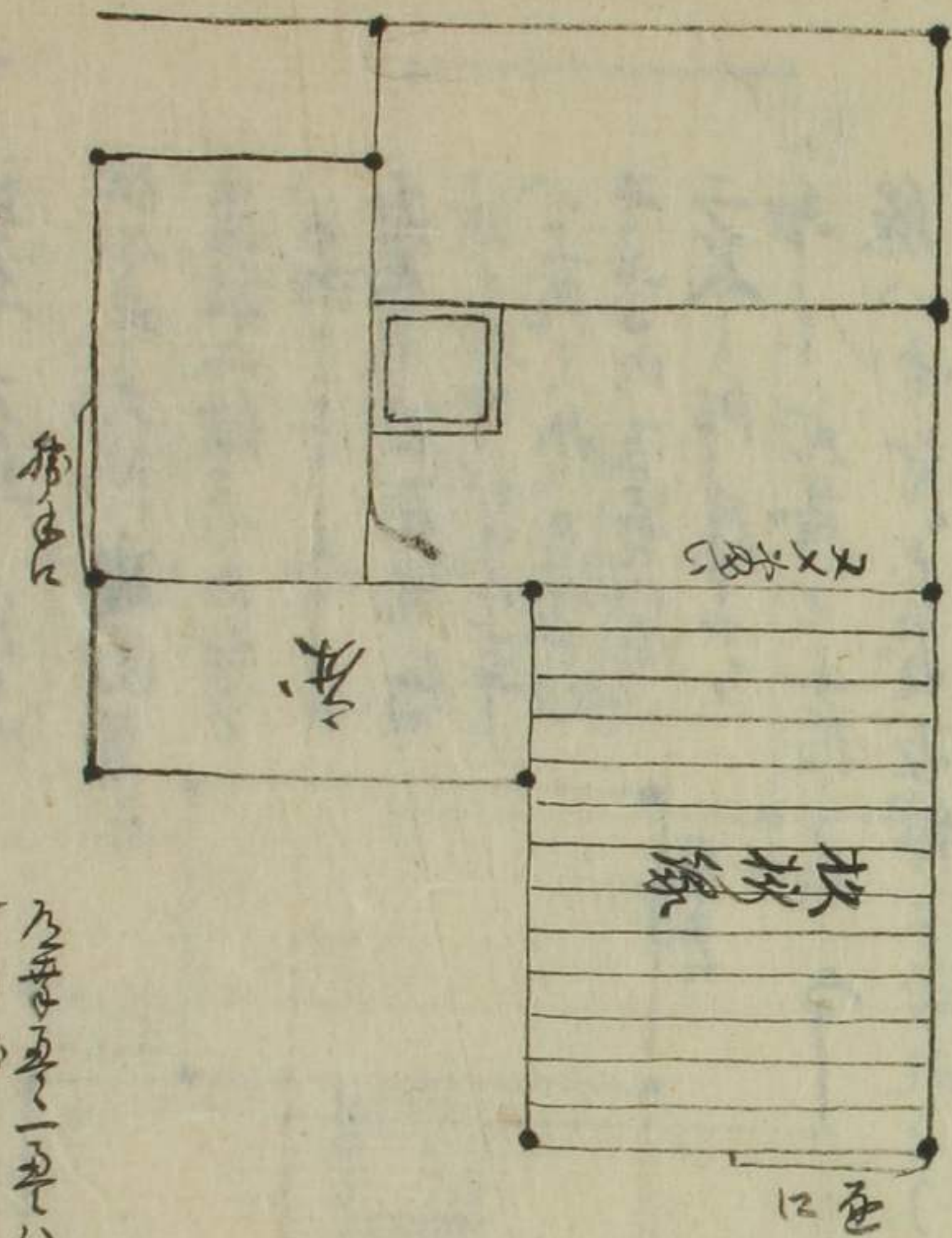
一 跡より大目之社家

けしき平之を中ねとま
板その向にたとのるまの
るこま平跡入守能の上作
こり魚と入下地をみかど
入下魚こまハハ地をま

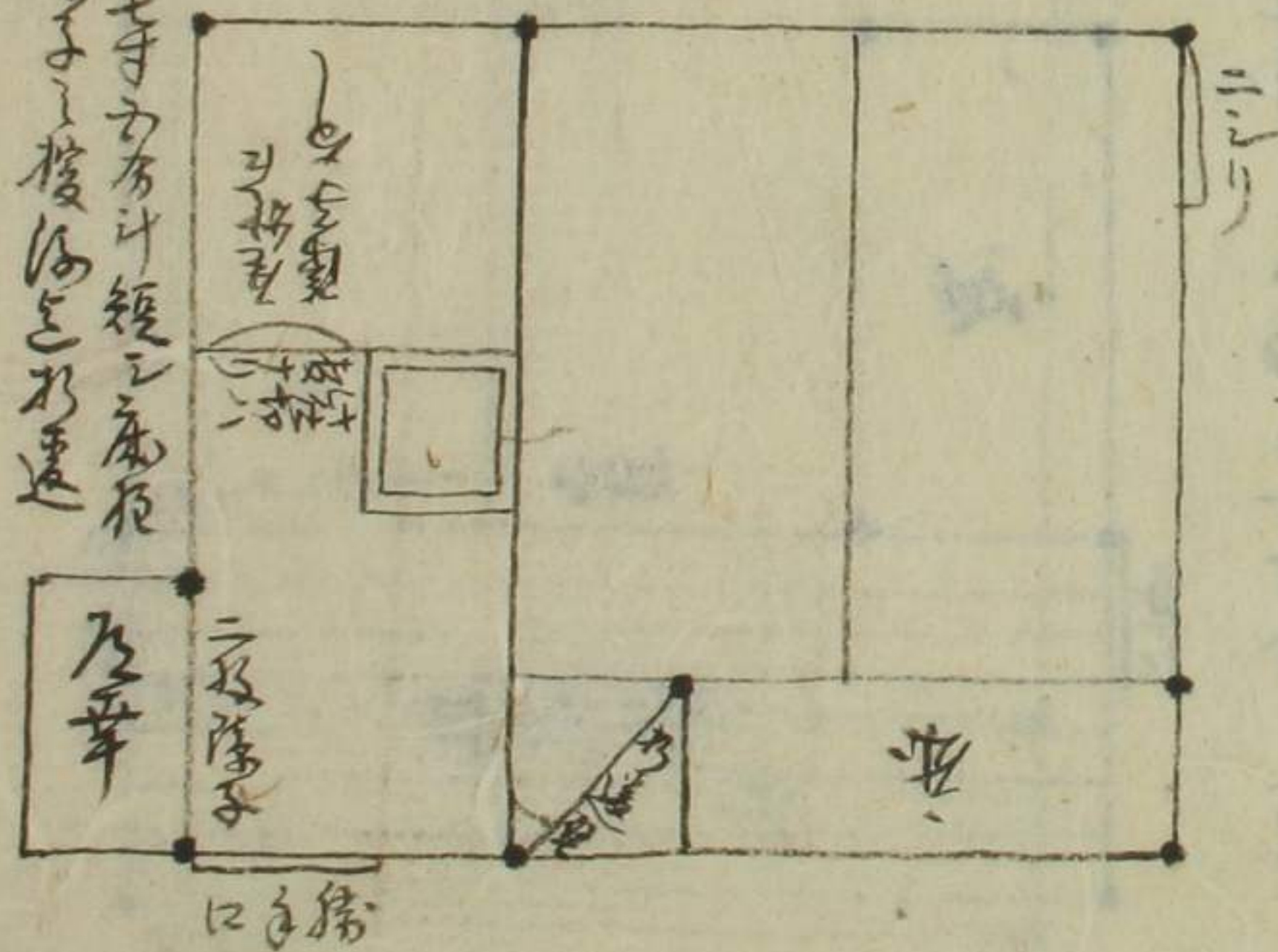


一 跡より大目之社家

二 跡より大目之社家

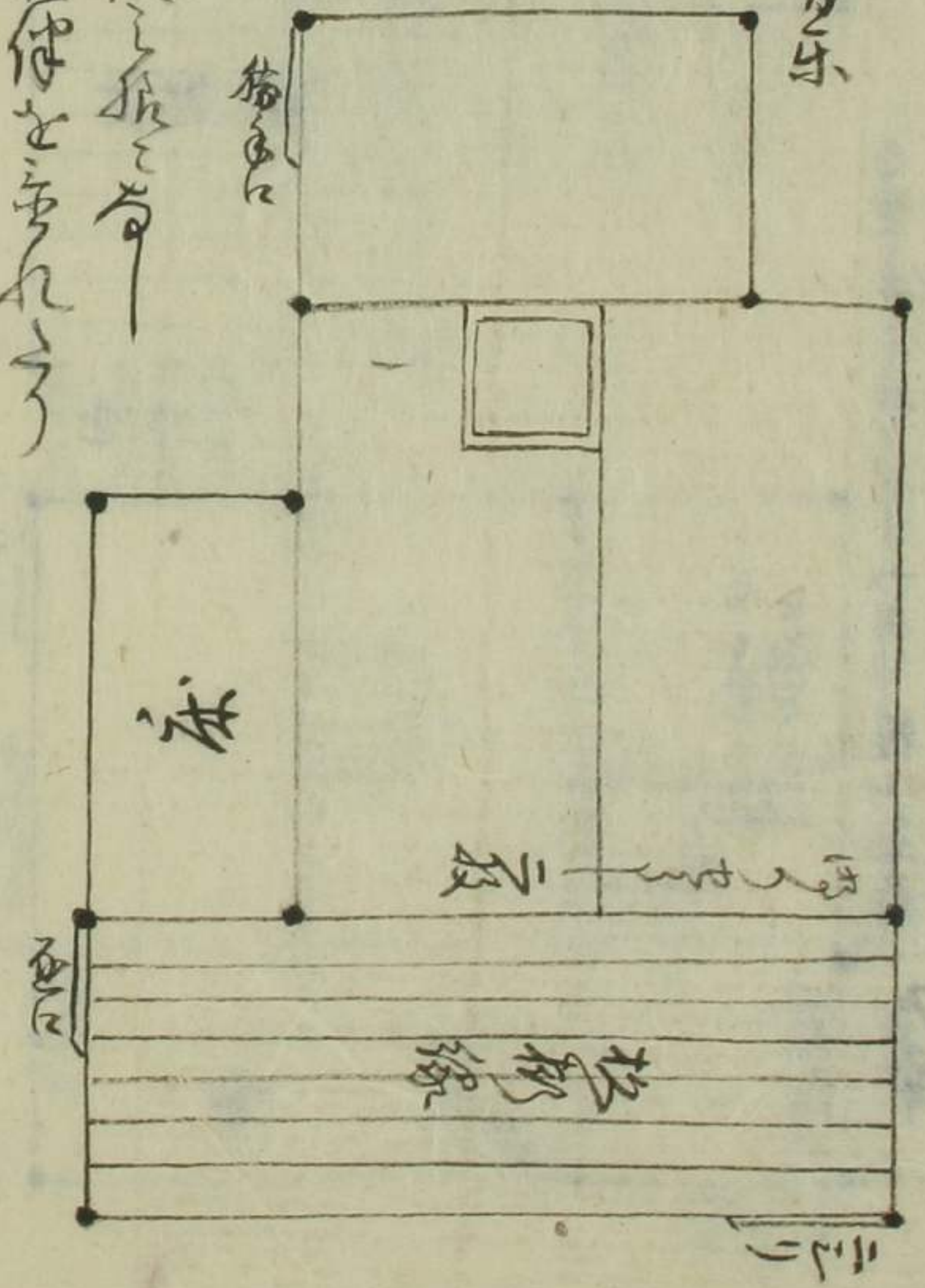


乃音より一五ハ七守方計短ニ床板
すり跡子の陰子と板海を形造
跡より



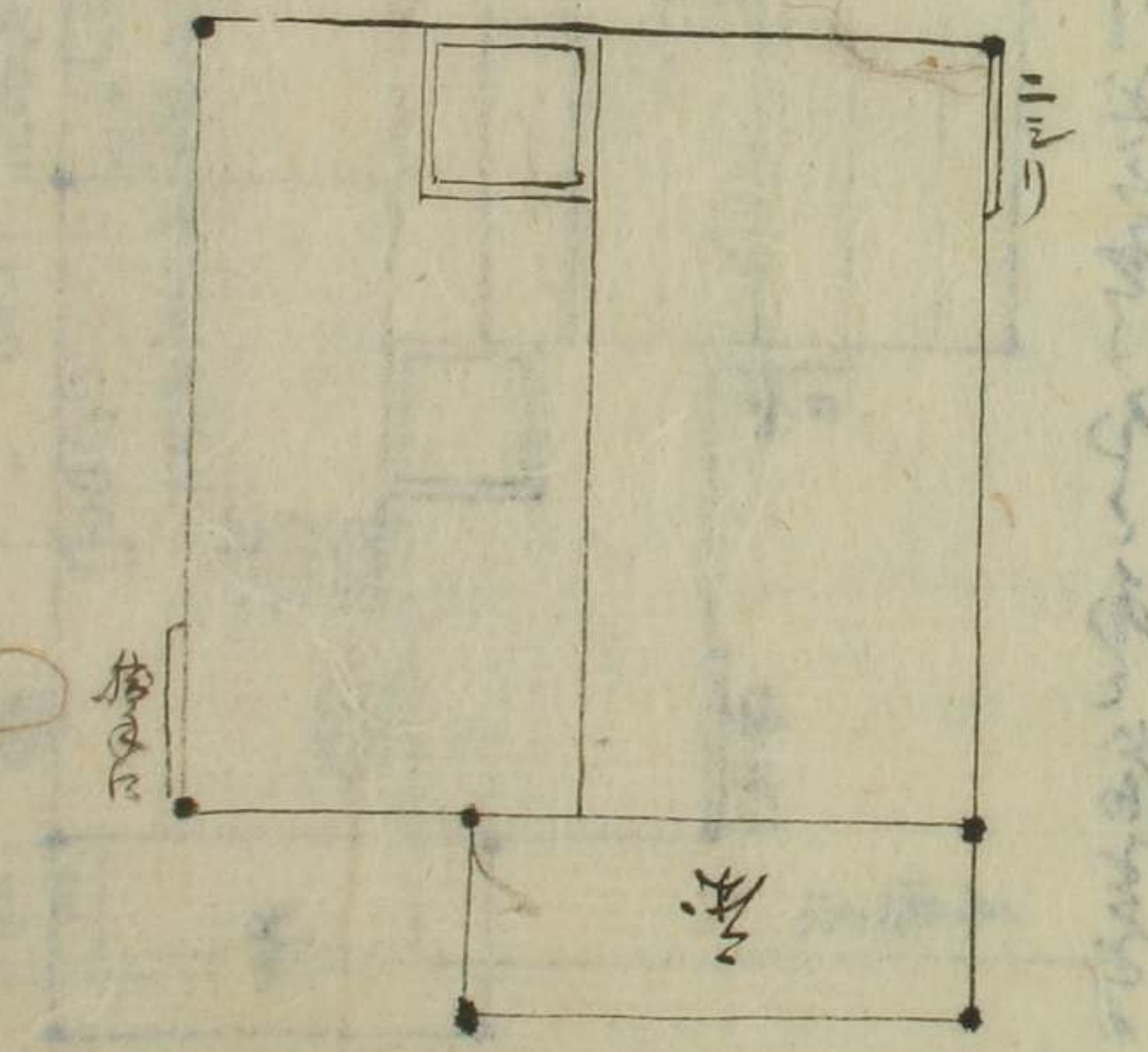
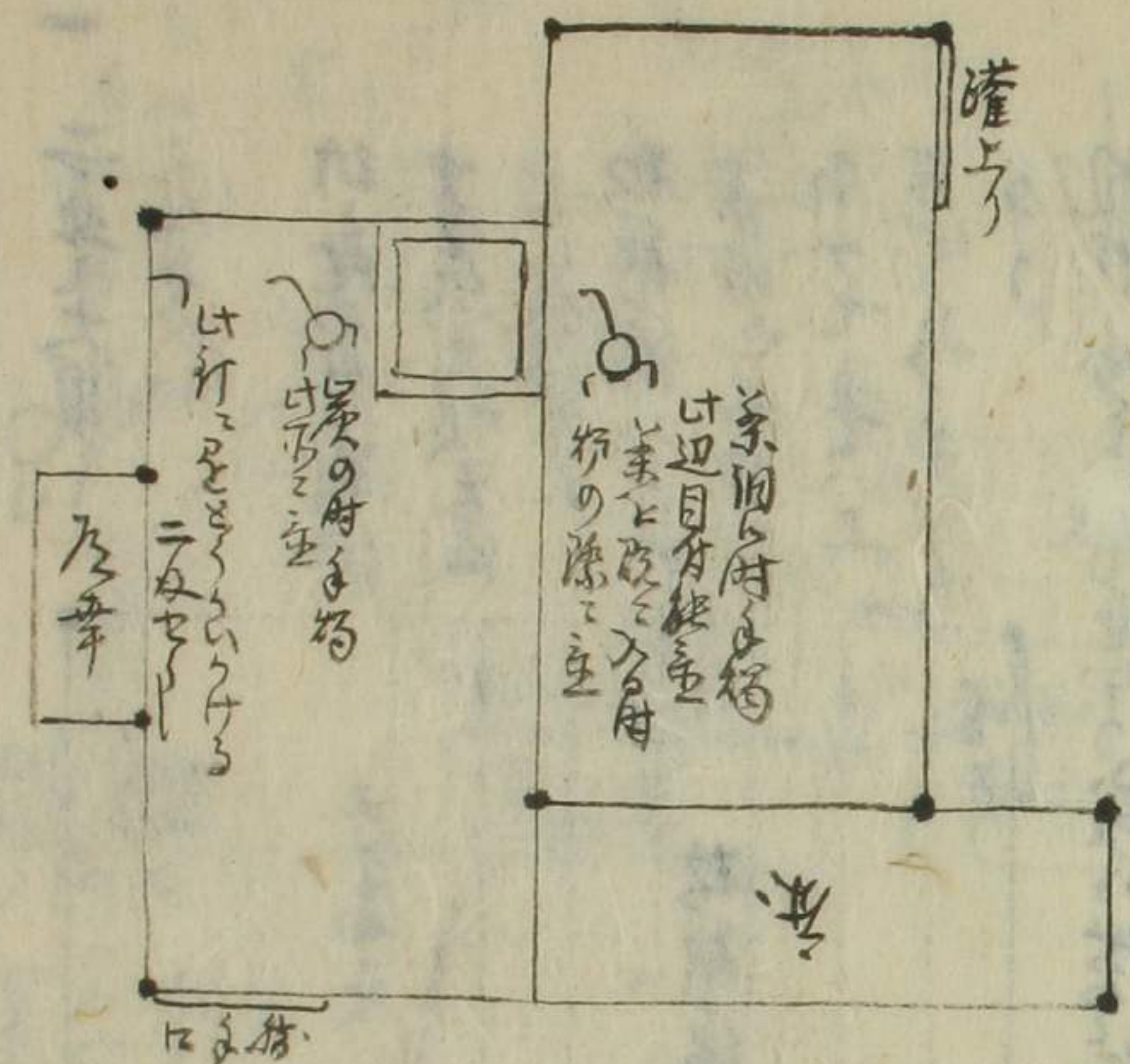
一 動を大目と社を

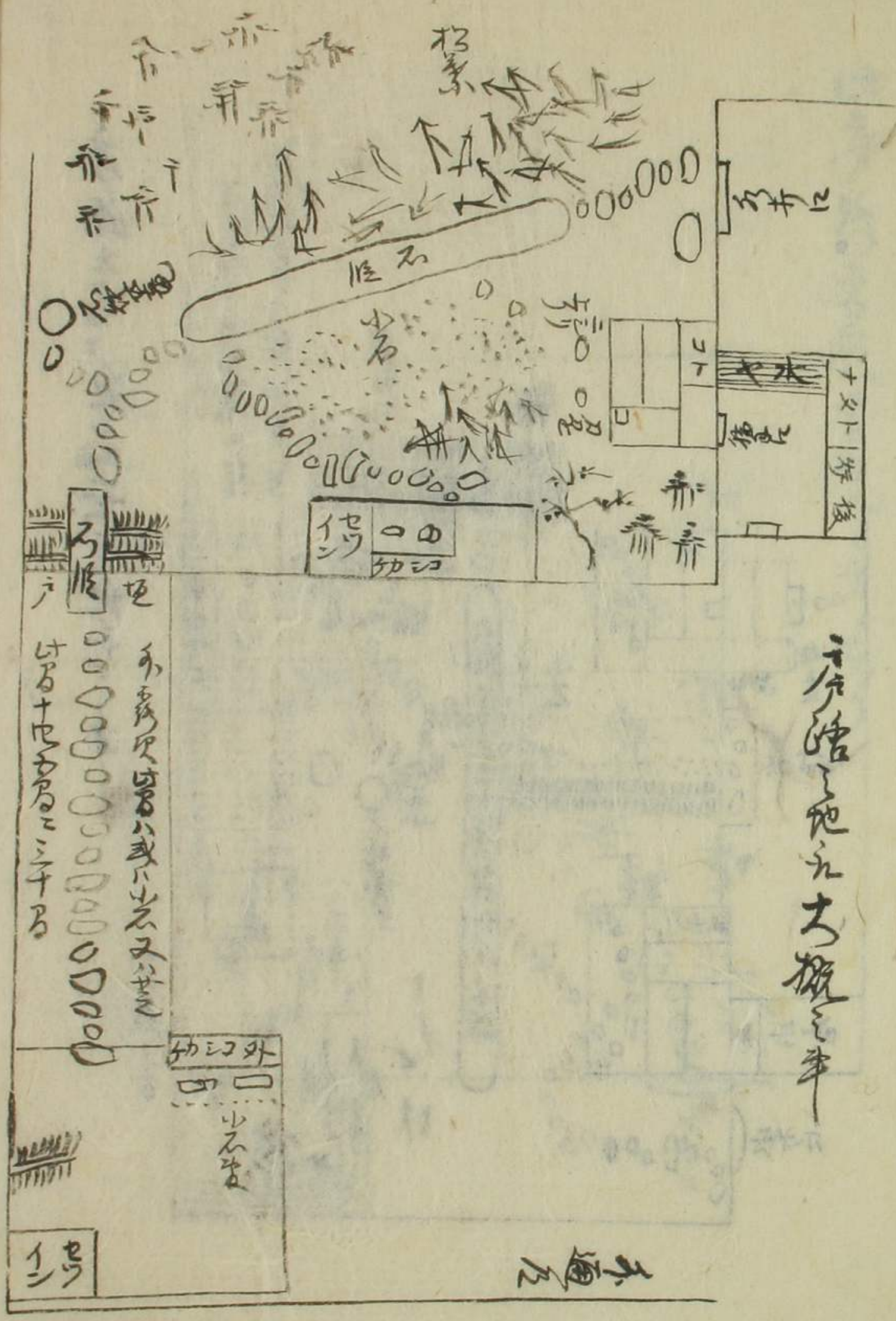
社二条、大目ハ城田カカシ
 京社二條、その社を
 する時、上下、又、
 社を、板板、縁、
 上、下、
 ハ上、下、
 半、
 二、
 一、
 縁ハ、
 白、
 新、



一 社を大目と社を

社二条、大目ハ城田カカシ
 京社二條、その社を
 する時、上下、又、
 社を、板板、縁、
 上、下、
 ハ上、下、
 半、
 二、
 一、
 縁ハ、
 白、
 新、





十分詰り地九丈概半

外道

一
二五丈大目

九丈

計九丈大目

九丈大目

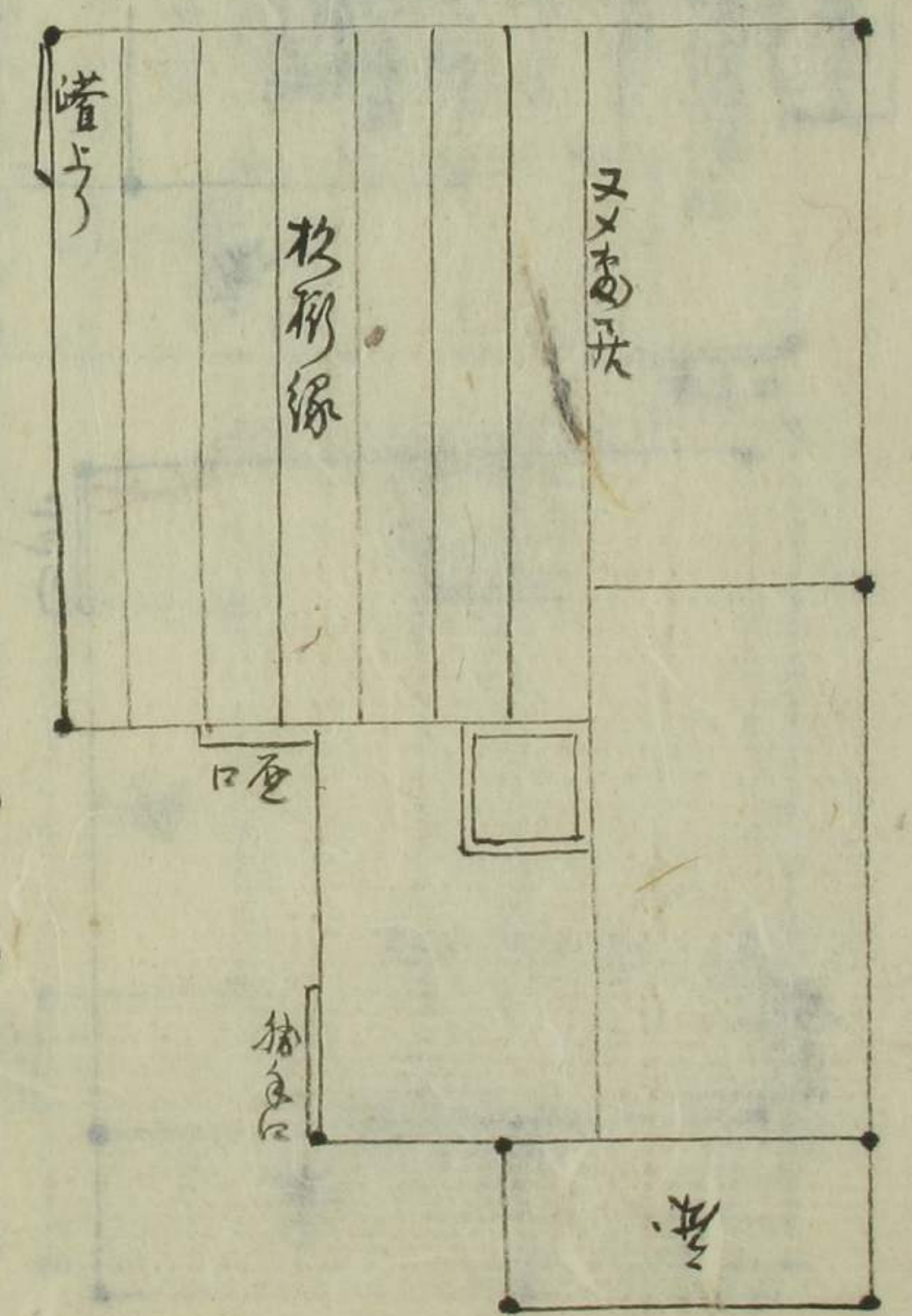
九丈大目

九丈大目

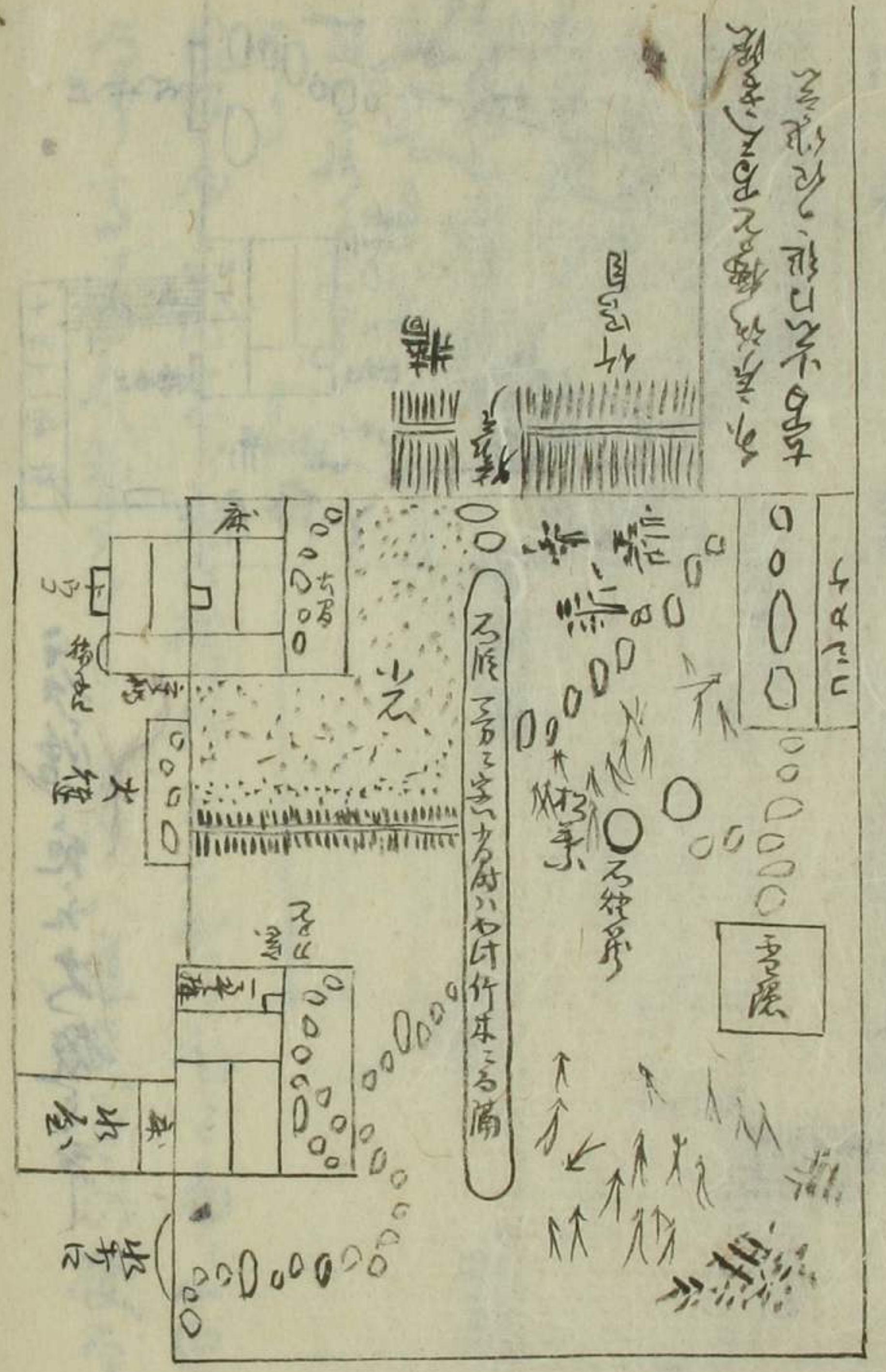
九丈大目

九丈大目

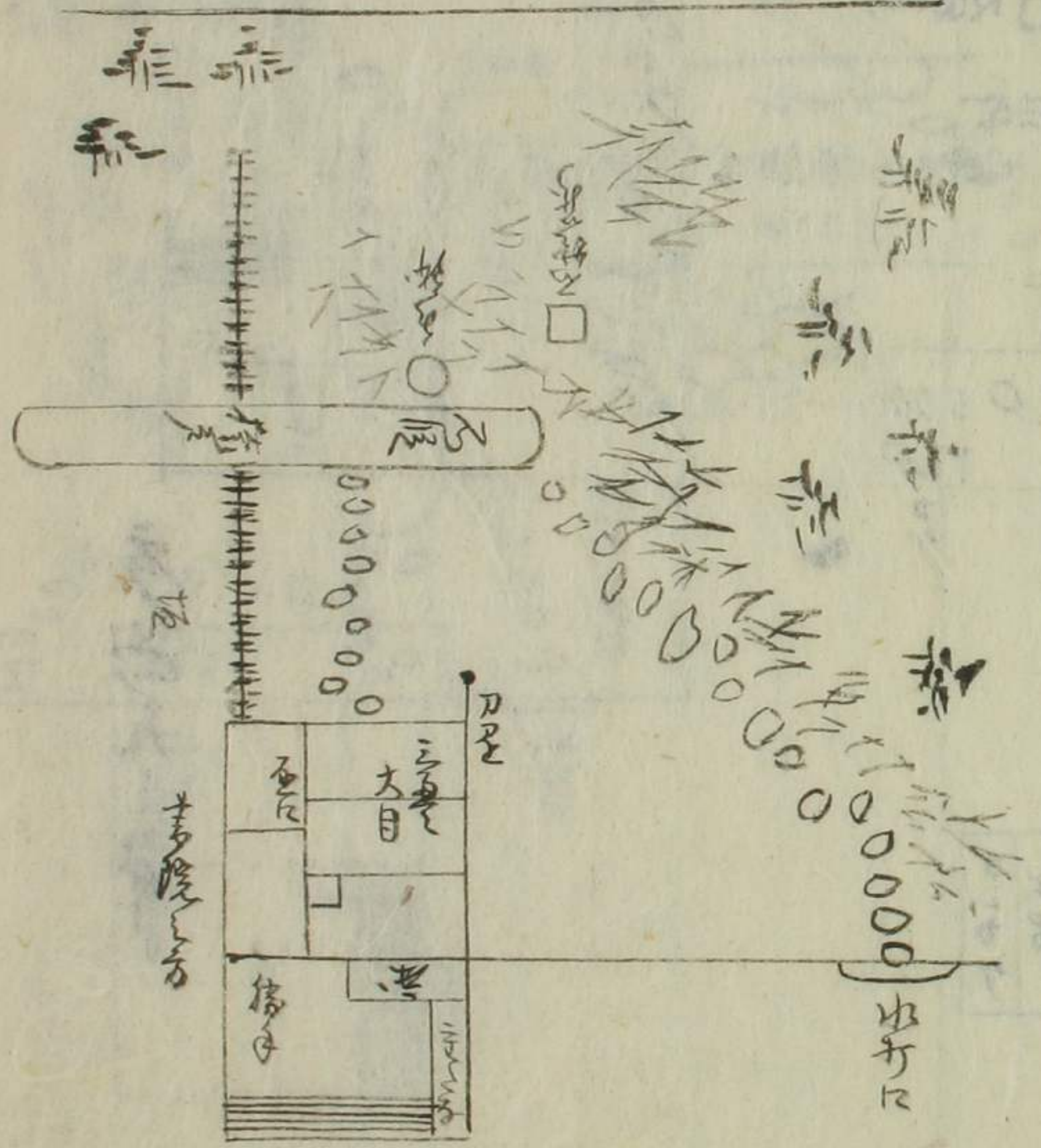
凡形向を地定より或は横を行とををりてとある向ををる
るよりすか或人等よりして横ハ道奥五尺の横る



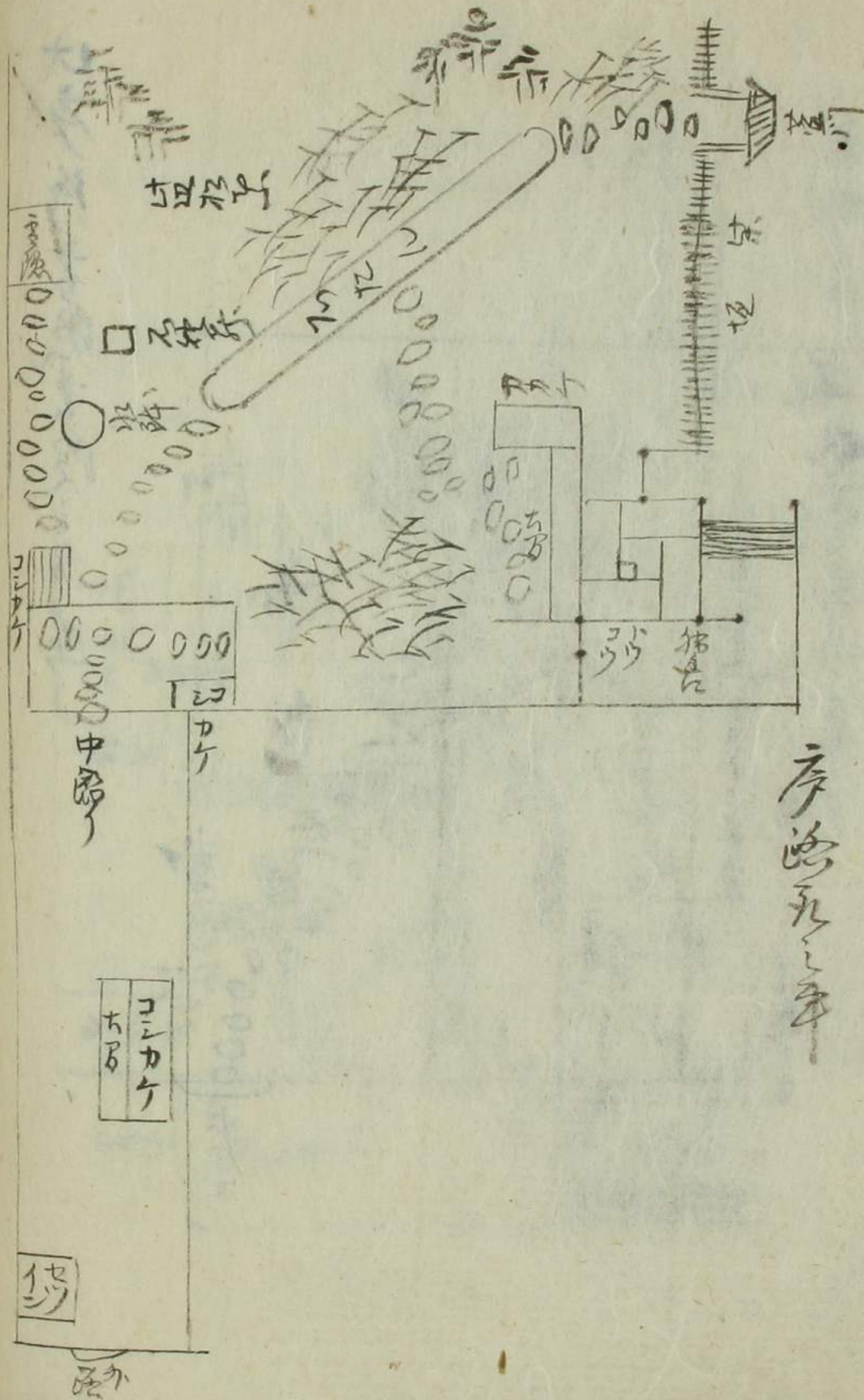
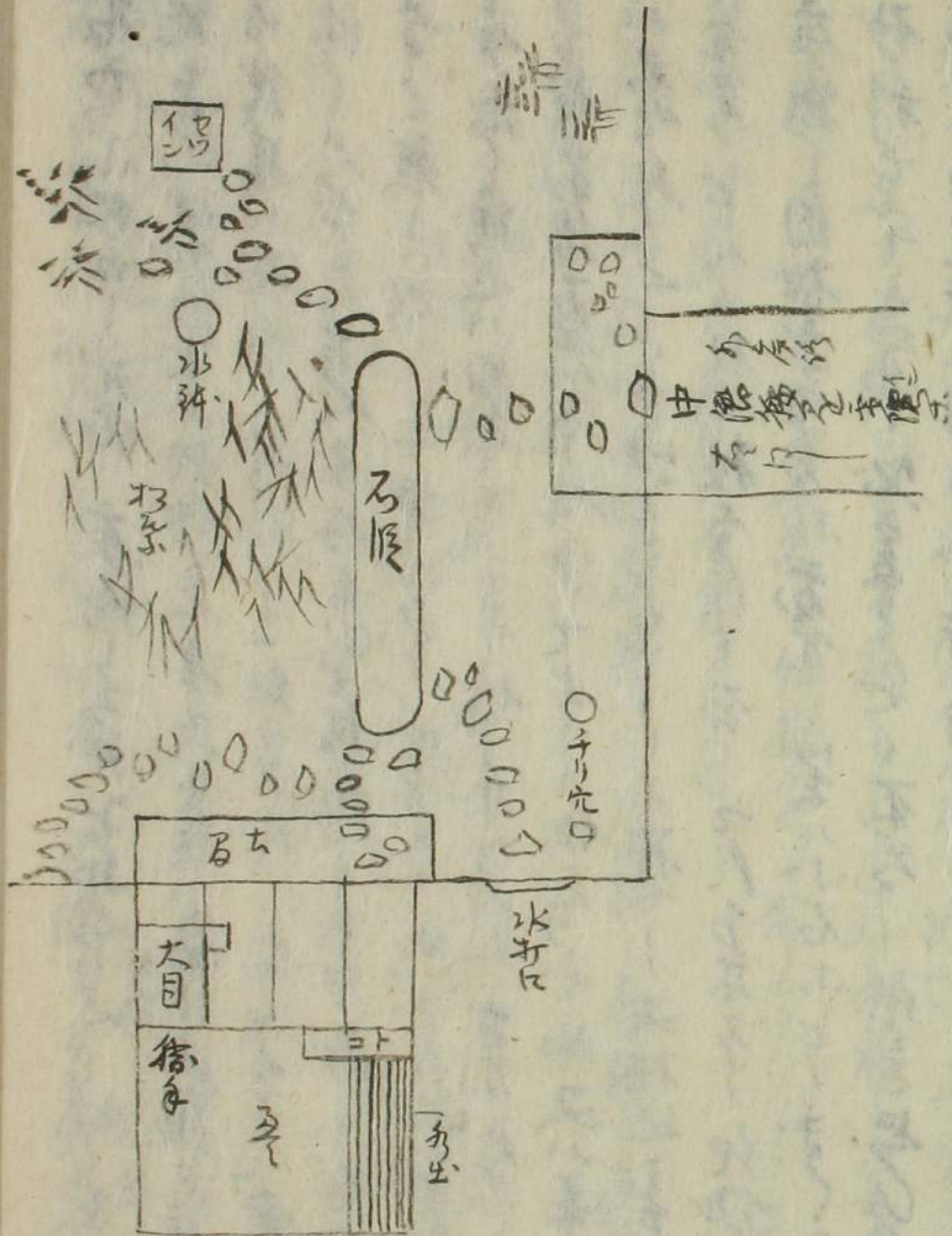
唐路まりの地味二つと地九一平



け亭河書院書院の方向了

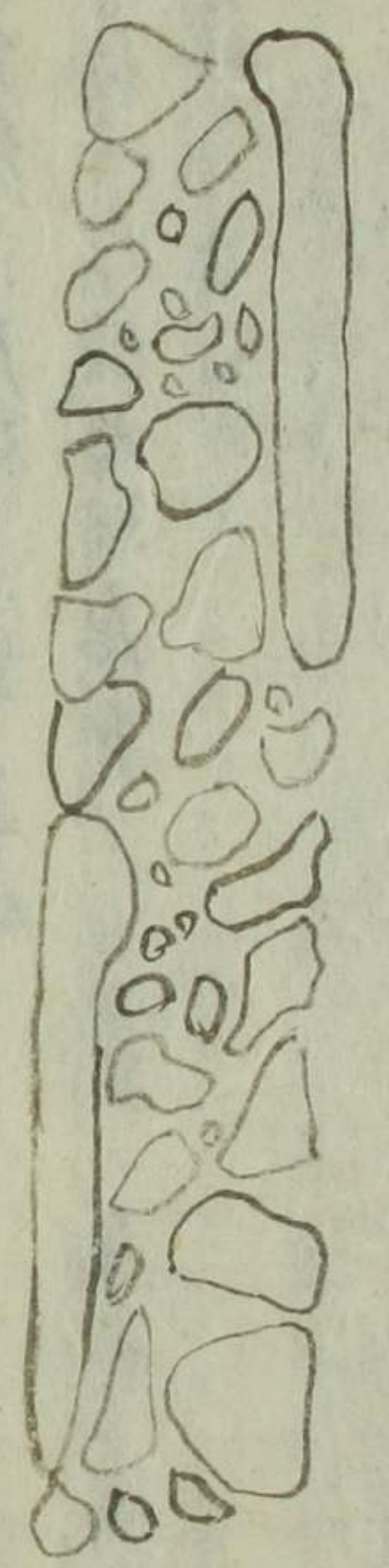


一 序治地画



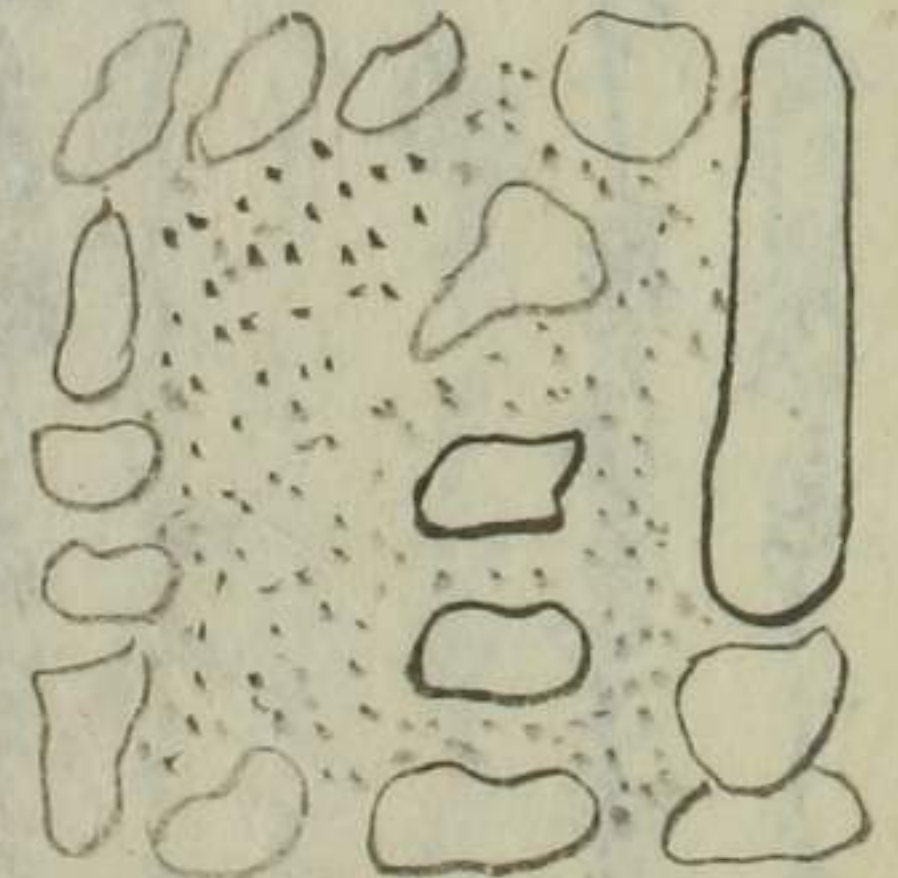
二 序治地画

折又石段の古縁と様とハ石段の厚縁とよ。但石段ハ様
 動人ハ石守物より長石段ハ石人ハ石守物と云ふ事
 他石段ハ様ハ石守物と様ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 又石守物ハ石守物と云ふ事

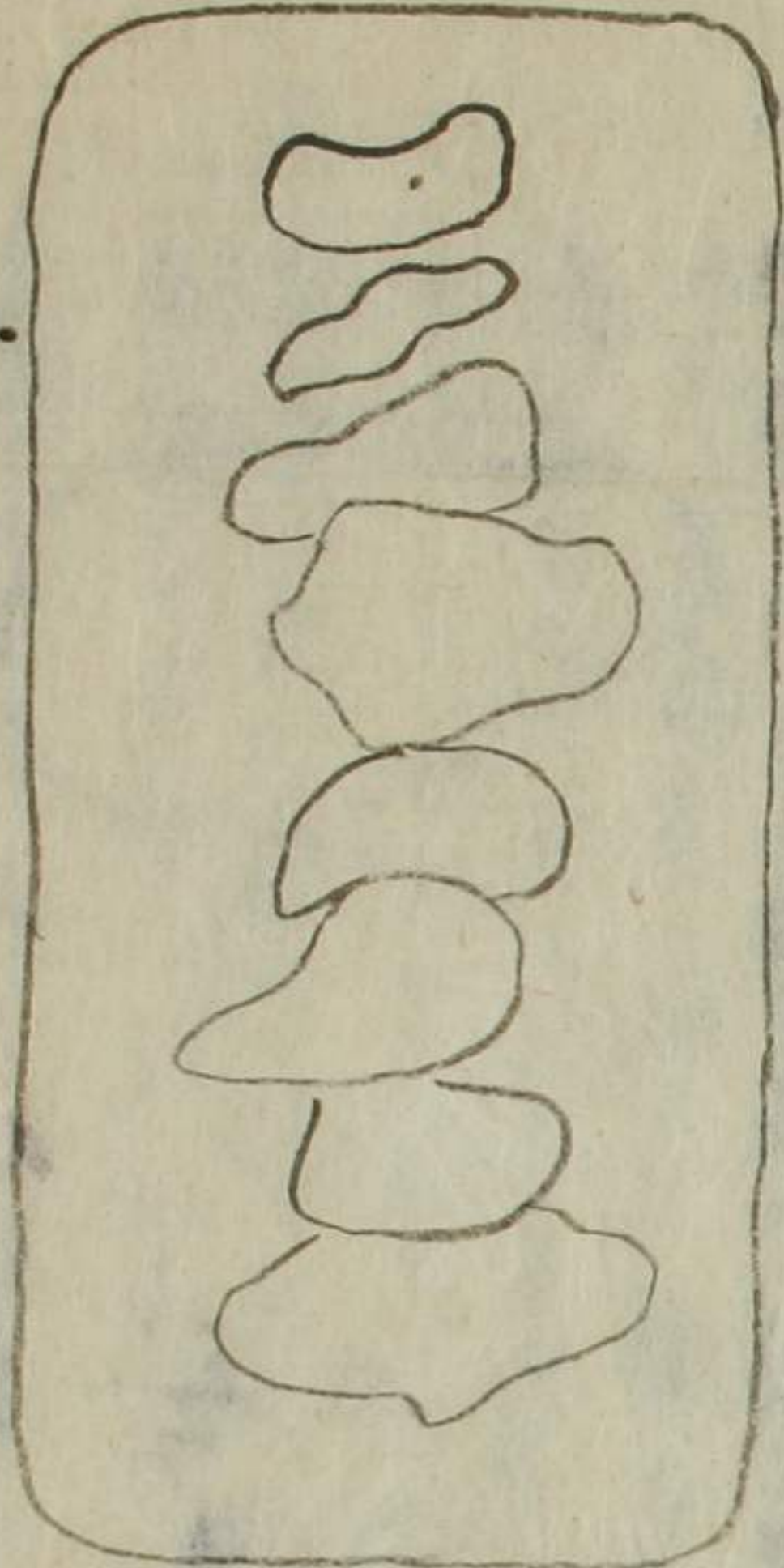


石段ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事

石段ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事



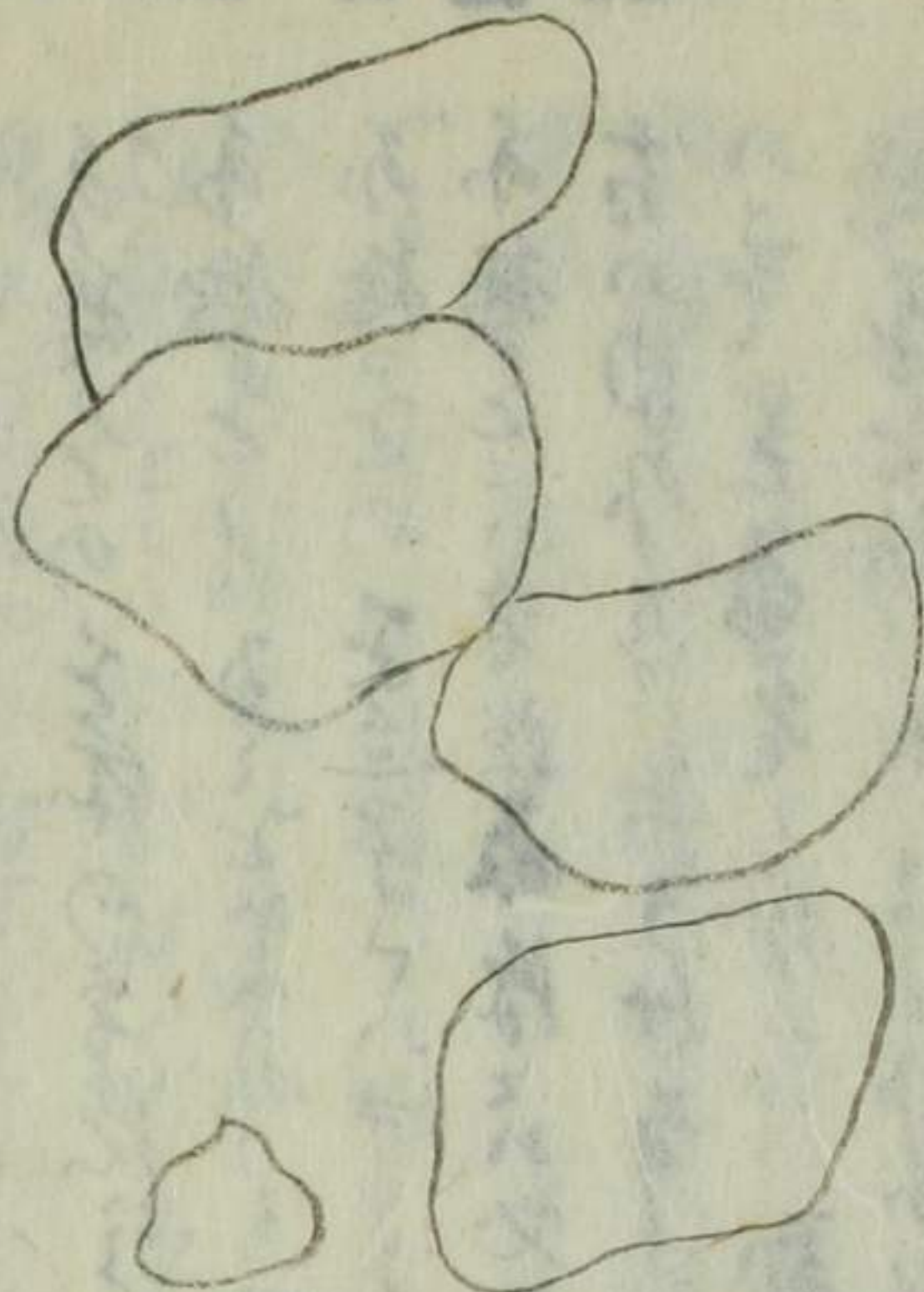
石段ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事



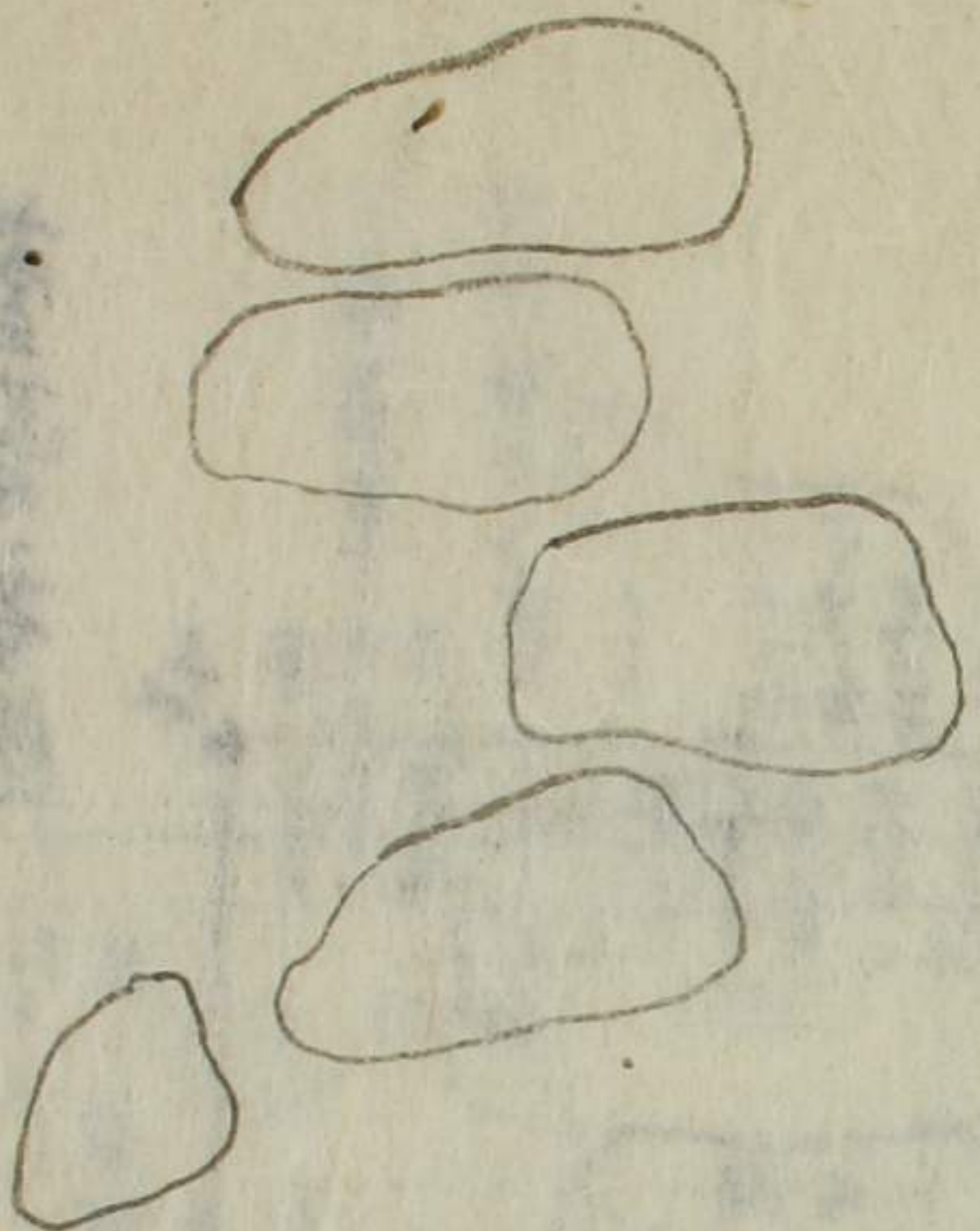
石段ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事
 石守物ハ石守物と云ふ事ハ石守物ハ石守物と云ふ事

石原二年

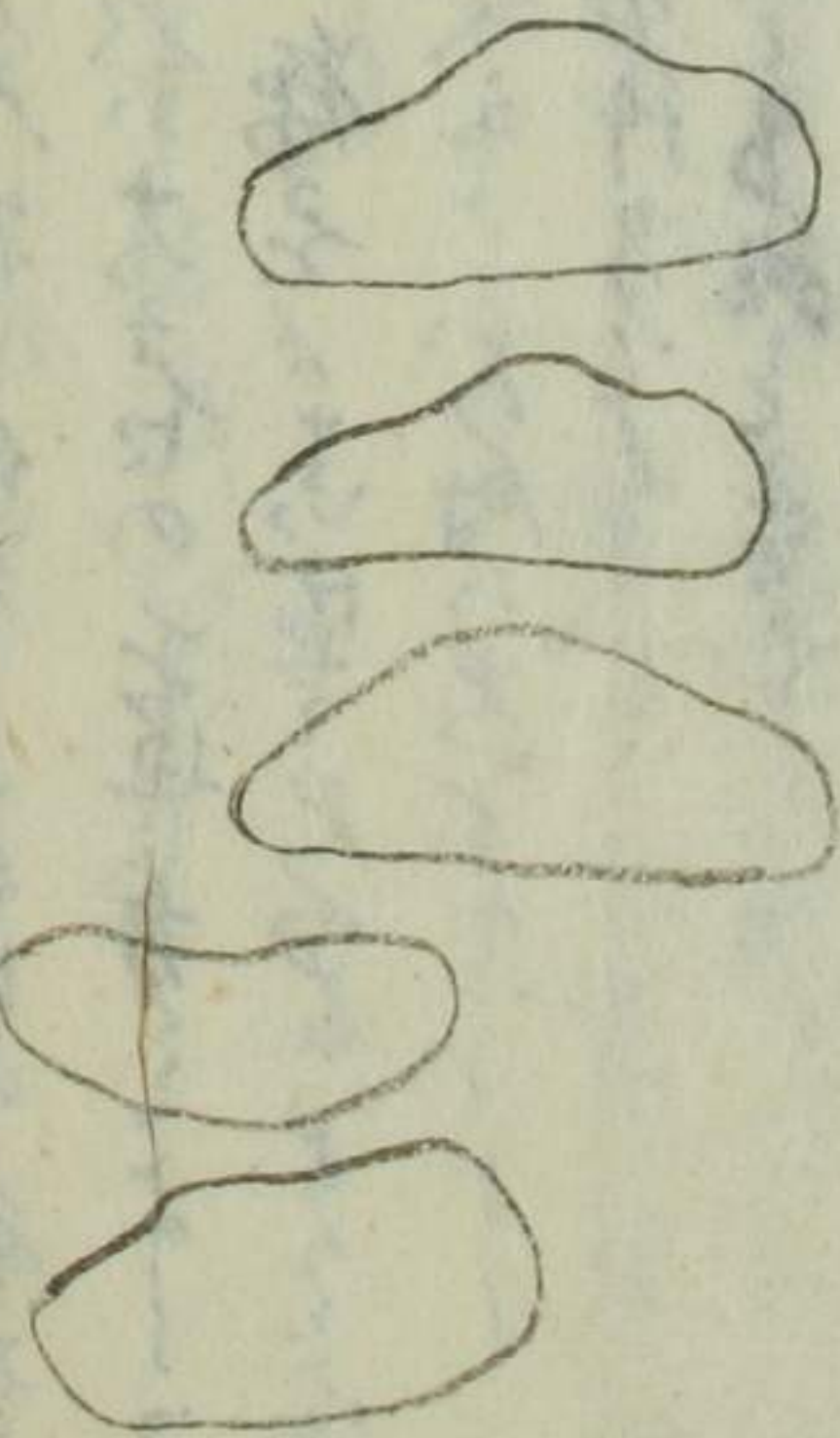
田舎の石原の地味
 助之平佐之助の地味
 一平も根子も白



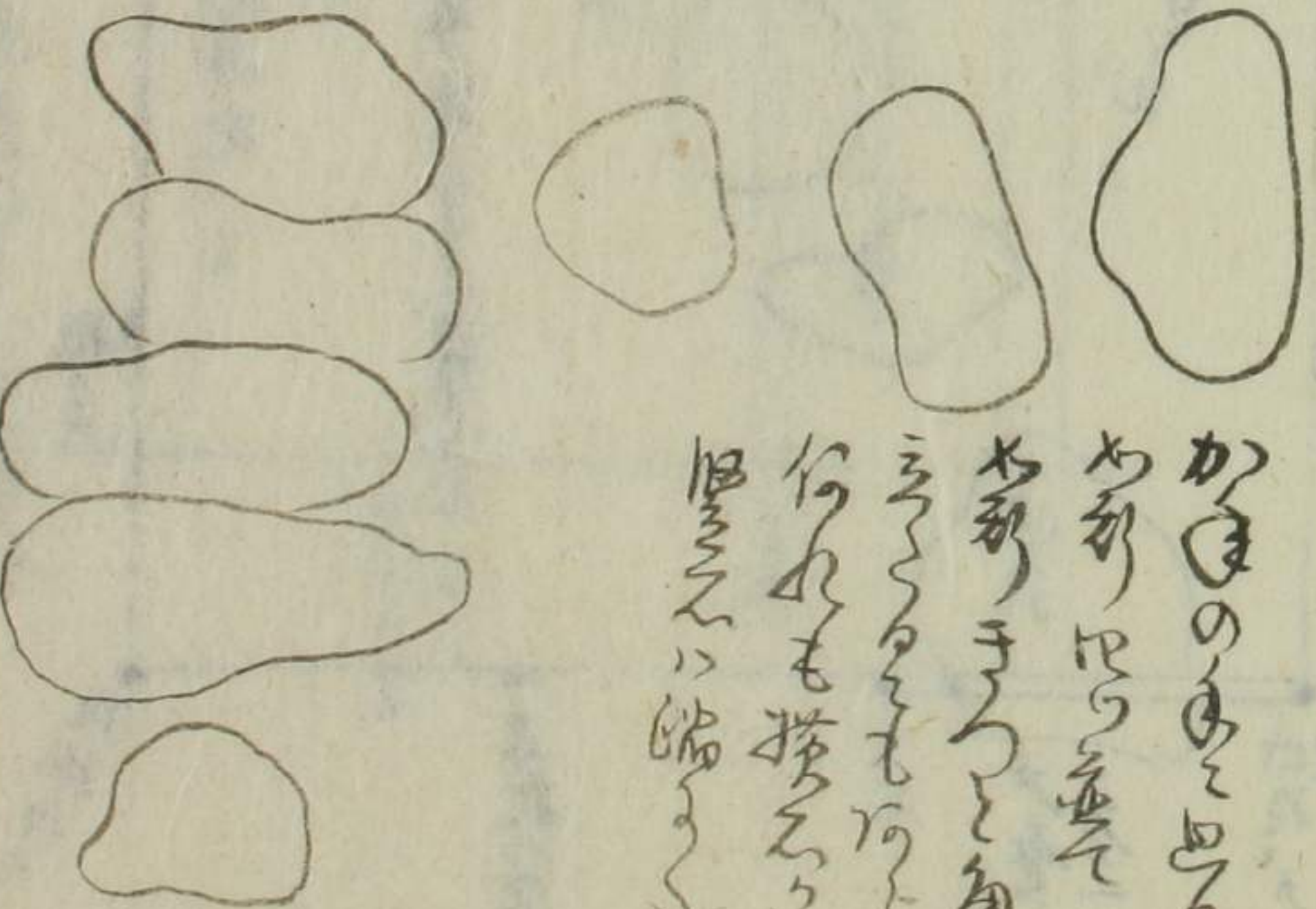
片作りの地味
 寺の地味
 居候の地味
 う又ハ下ケテケ



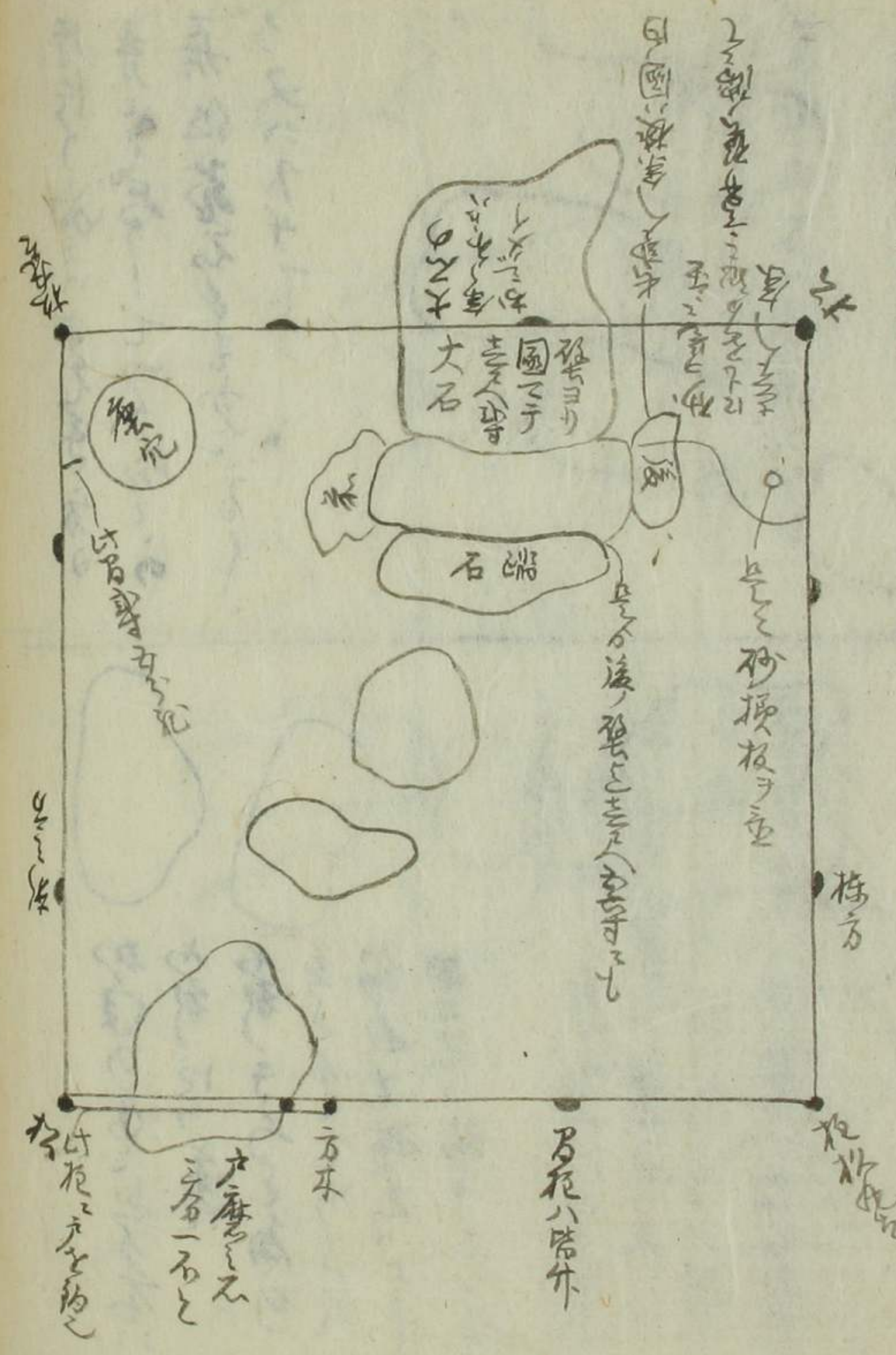
わらまの石原の地味
 居候の地味
 石と石と地味
 一平も根子も白



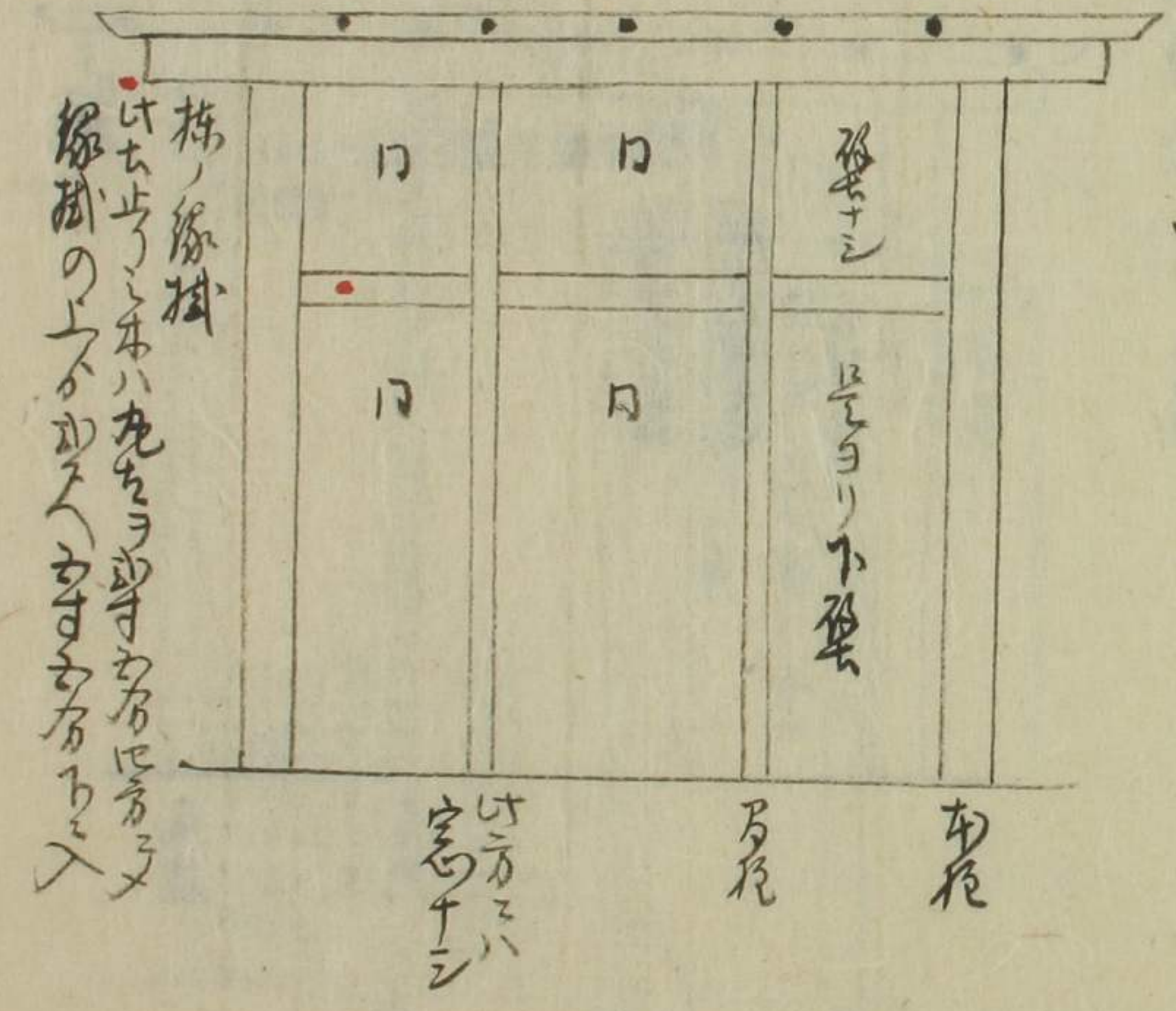
かまの地味
 地味
 地味
 地味



甘藷園の位置

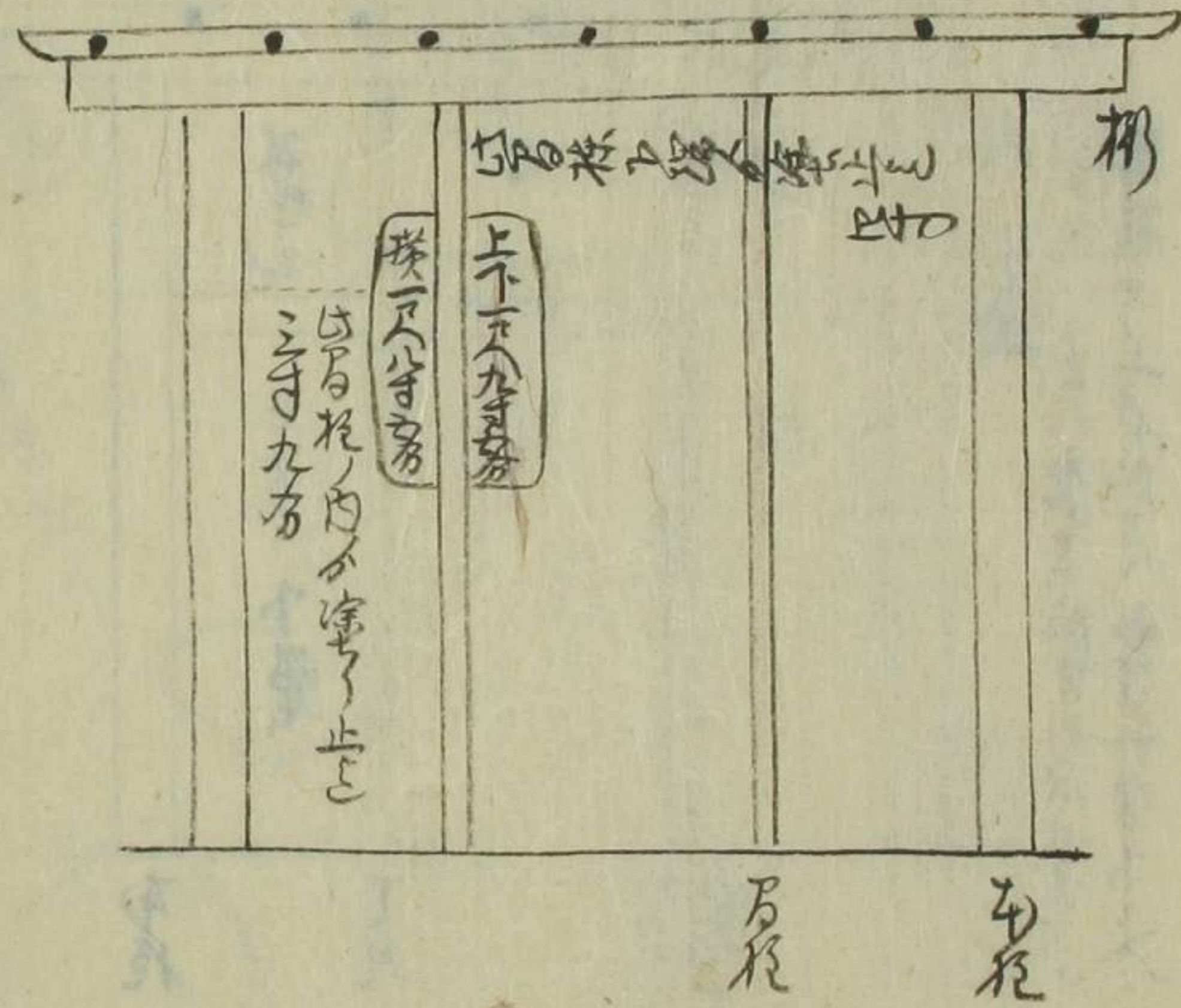
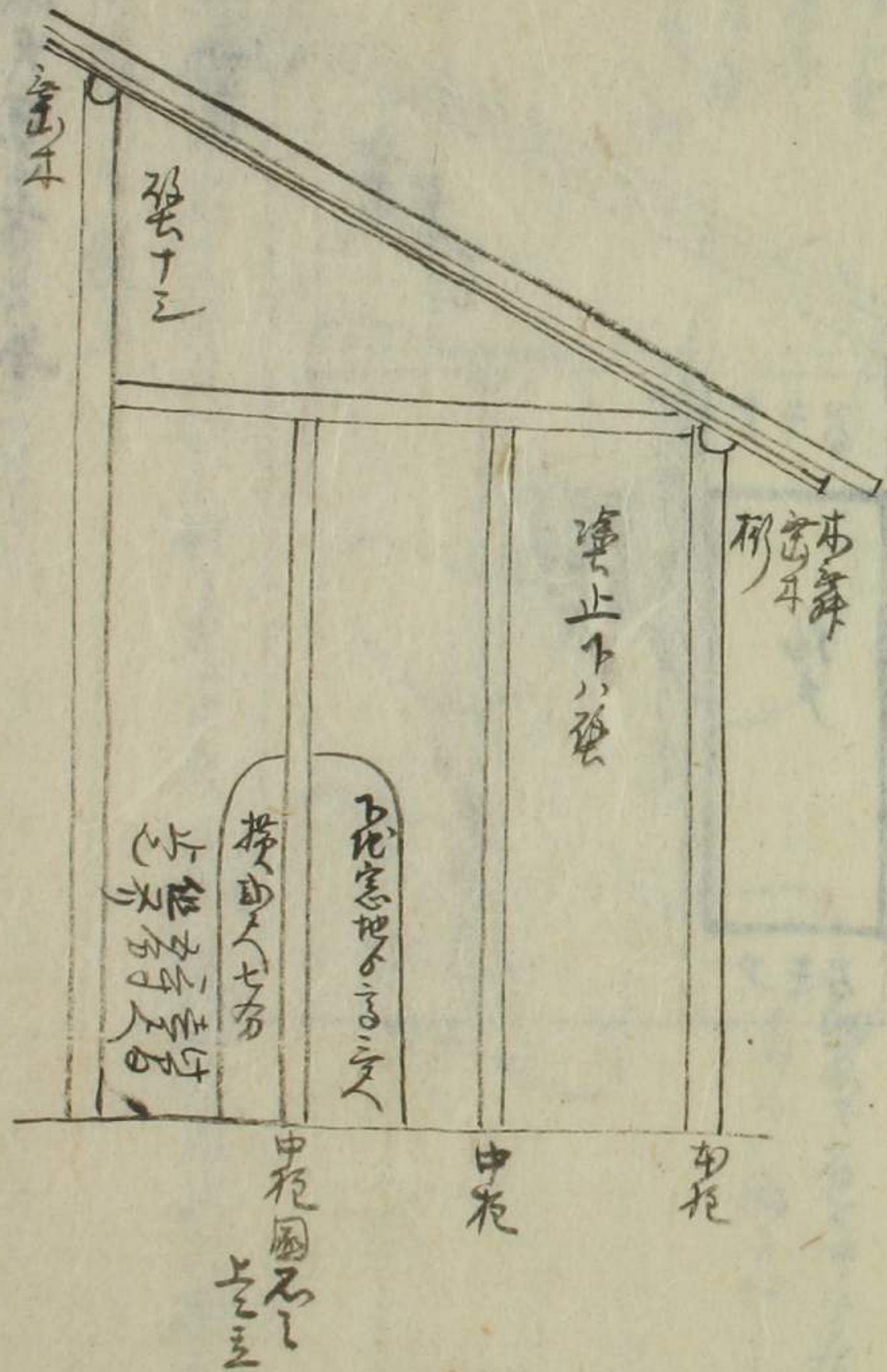


日吉院の位置

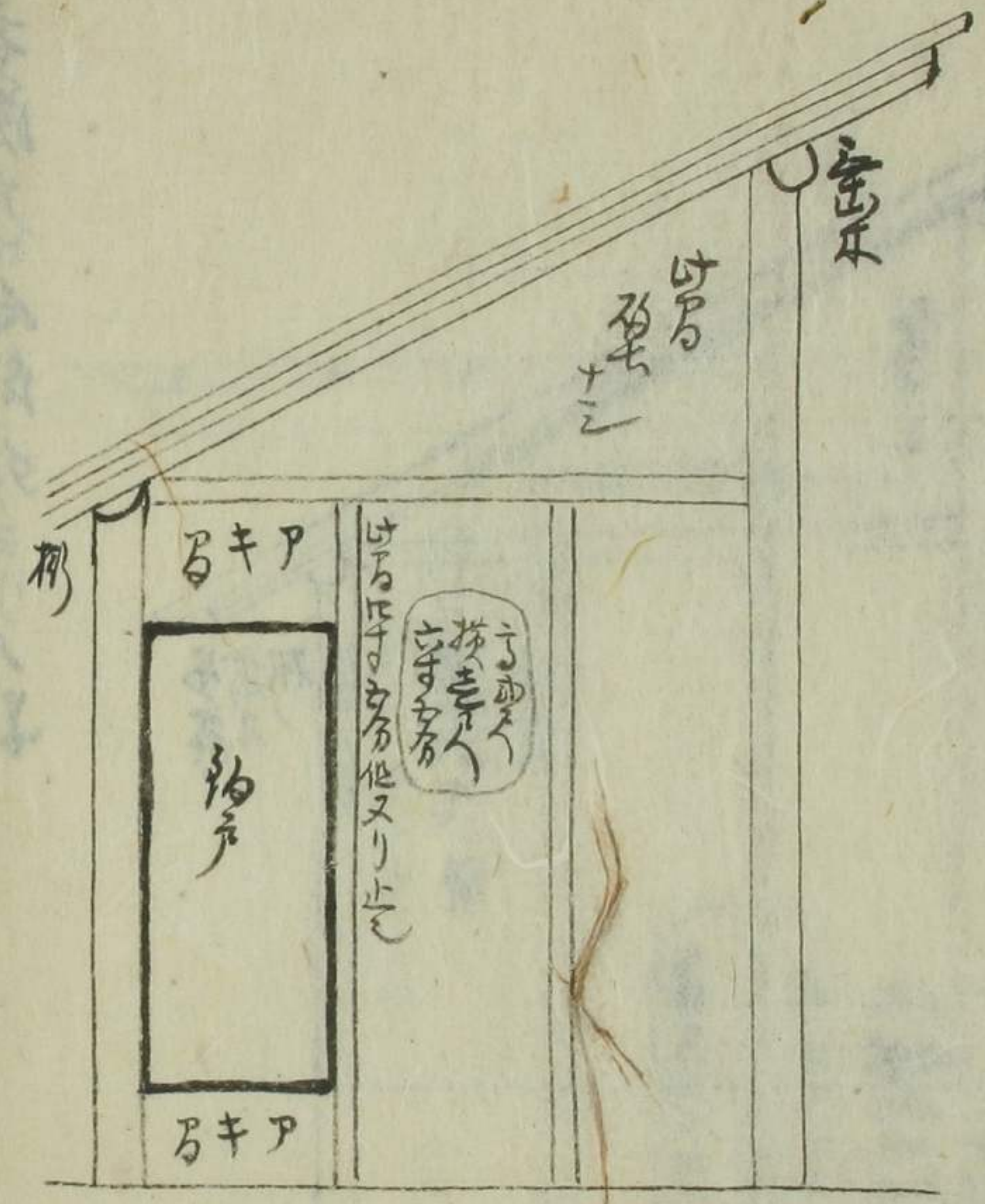


梅ノ縁掛
けちより本ハ丸をうり守りわがは方
縁掛の上から入る守り方あり

日吉院戸口向創外ヨリノ景

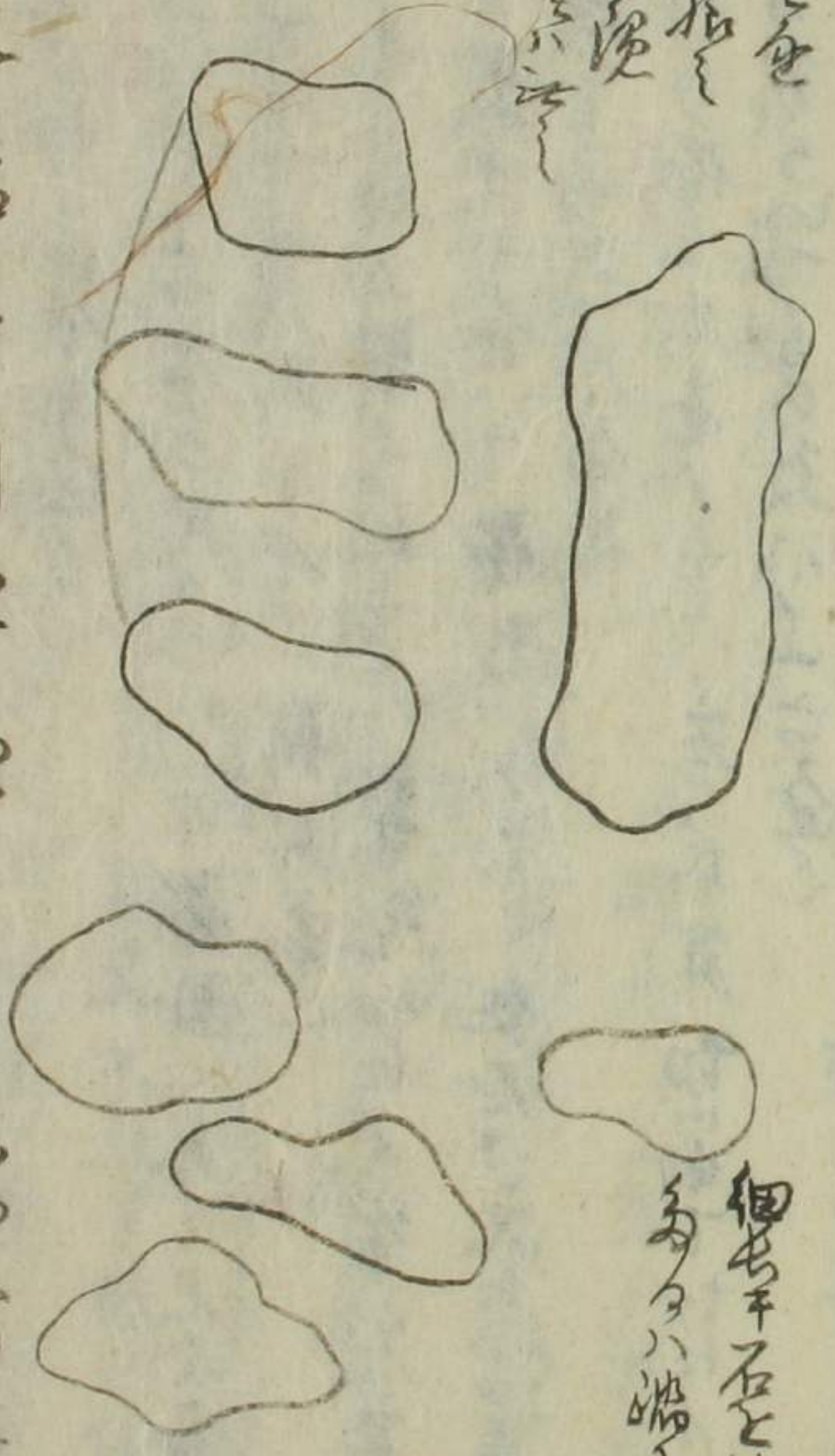


日笠院天口の方へ



一 長キ石を壁と端と境の境の境の境

是は石を
石の境を
半と石を
石の境を



細キ石と中
多クハ端

一 若くは石を
一 若くは石を
一 若くは石を
一 若くは石を

の疾

一 魯原の仲ハ砂利ニ多キニ國ニ年葉穴ニ年ハ角ニたて

一 葉穴のチサキ人ハ砂利ニあるありあるあり砂利と打こ
一 葉穴ニ年ハ打まよと入まよ葉穴ノ砂をさる葉木のさ
まよハ葉木と入竹の葉と入也

一 但葉穴の隙ニ入まよと打入て見ま能根子斗
一 唯五ノてハ名宜と分て見ま是ハ葉

一 薇多帯とを竹打九方葉ハ山 陽ニ根ハ守斗
一 國の方ニ打てを竹ハ二方葉斗ニ打一穴のま竹ノ葉のさ
一 根ニ打九方葉帯の先地ハ守斗反ハ根ニ打ニ竹の根ハ
一 一ノ年ノナリは月ハ上ニ打る

一 砂利板ハ板の板有ニ長ハ人ニ打先ニ年の後斗ニカ方ニ打カ

一 本の枝ニサカ方ニ打カ方角ニ細く而ニ九後の砂の上ニ打

候裡ニ後をそと云云候ニ九月

一 後をハ候ハ候下ニ但ニ葉の根ニ大サハ地際ニあるは後ニ寸
一 一方ハ板ハ大サ打九方ニ寸ハ但ニサハ竹ニ打カ方
一 打板のチサキえハ打九方ニ打カ方地際ハ板の上ニ打カ方ニ寸斗
一 或ハ七人斗も後をのチサ打カ方打カ方ニ打カ方の白信と
一 二寸ニ打カ方板ハカ方打カ方

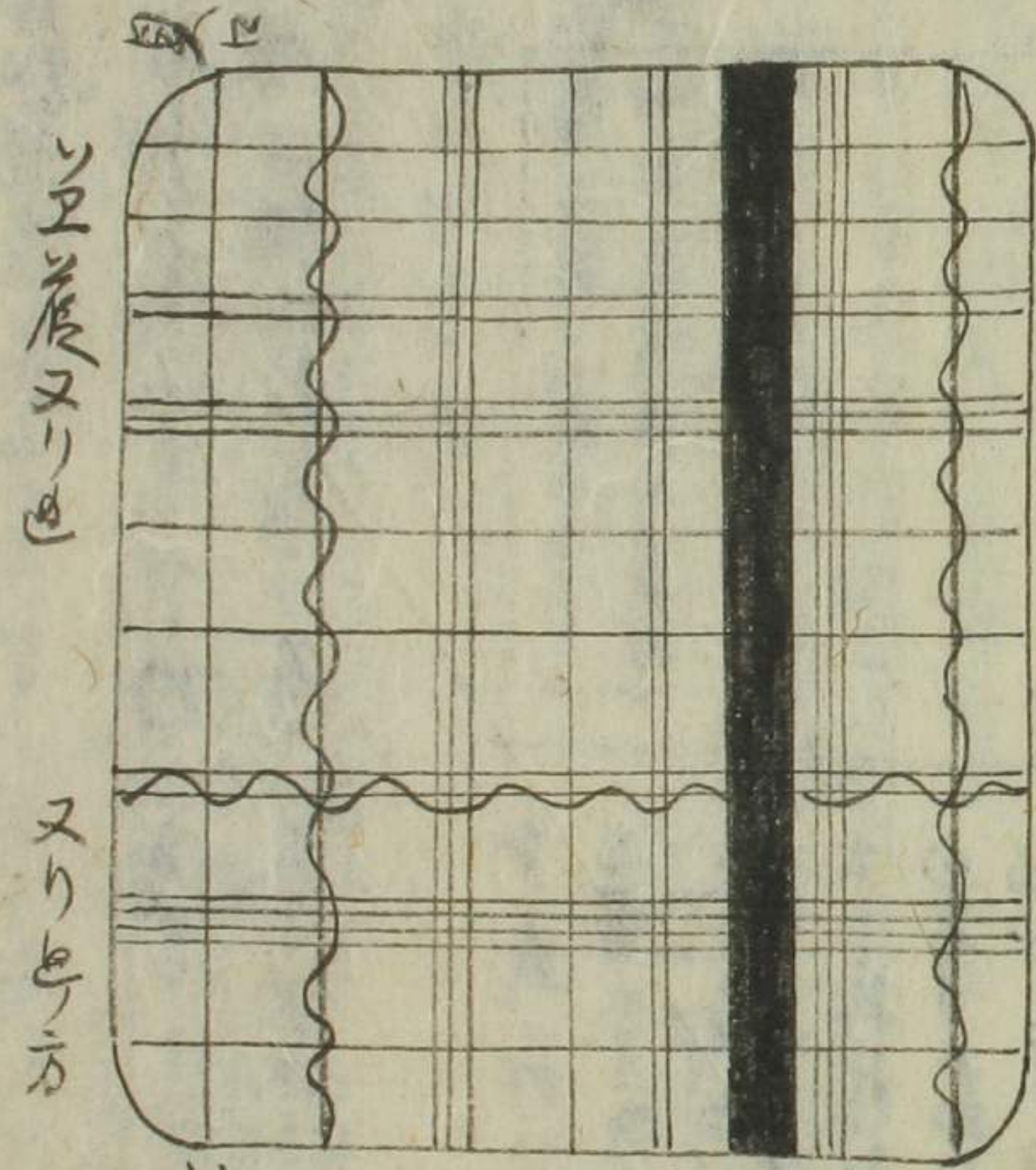
一 板ニ打カ方後斗ニカ方打カ方ニ寸ニ打カ方打カ方ハ板の中ニ打カ
一 七寸板を打カ方板の板の打カ方斗の透カ方

一 板ハ打カ方チサキえハ打カ方七方斗ハ板ハ板打カ方七寸ハ打カ方
一 打カ方九方打カ方七方板打カ方一打カ方打カ方ニ打カ方九方
一 打カ方打カ方一打カ方打カ方九打カ方打カ方打カ方打カ方
一 打カ方打カ方打カ方打カ方打カ方打カ方打カ方打カ方

一 舞板ハヤサトサヨキ人（守り方）ハサヨキ中ハヨシ人ハ守り余
 舞板ハヨシ人ハ守り余ハ舞板の邊ヨシ人ハサヨキ人ハ
 守り板長ハサヨキ人ハ守り上トキヨシ人ハサヨキ中ハヨシ人ハ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ

一 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ

一 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ
 舞板ハサヨキ人ハサヨキ板ハサヨキ板ハサヨキ中ハサヨキ



ソエ底又り廻

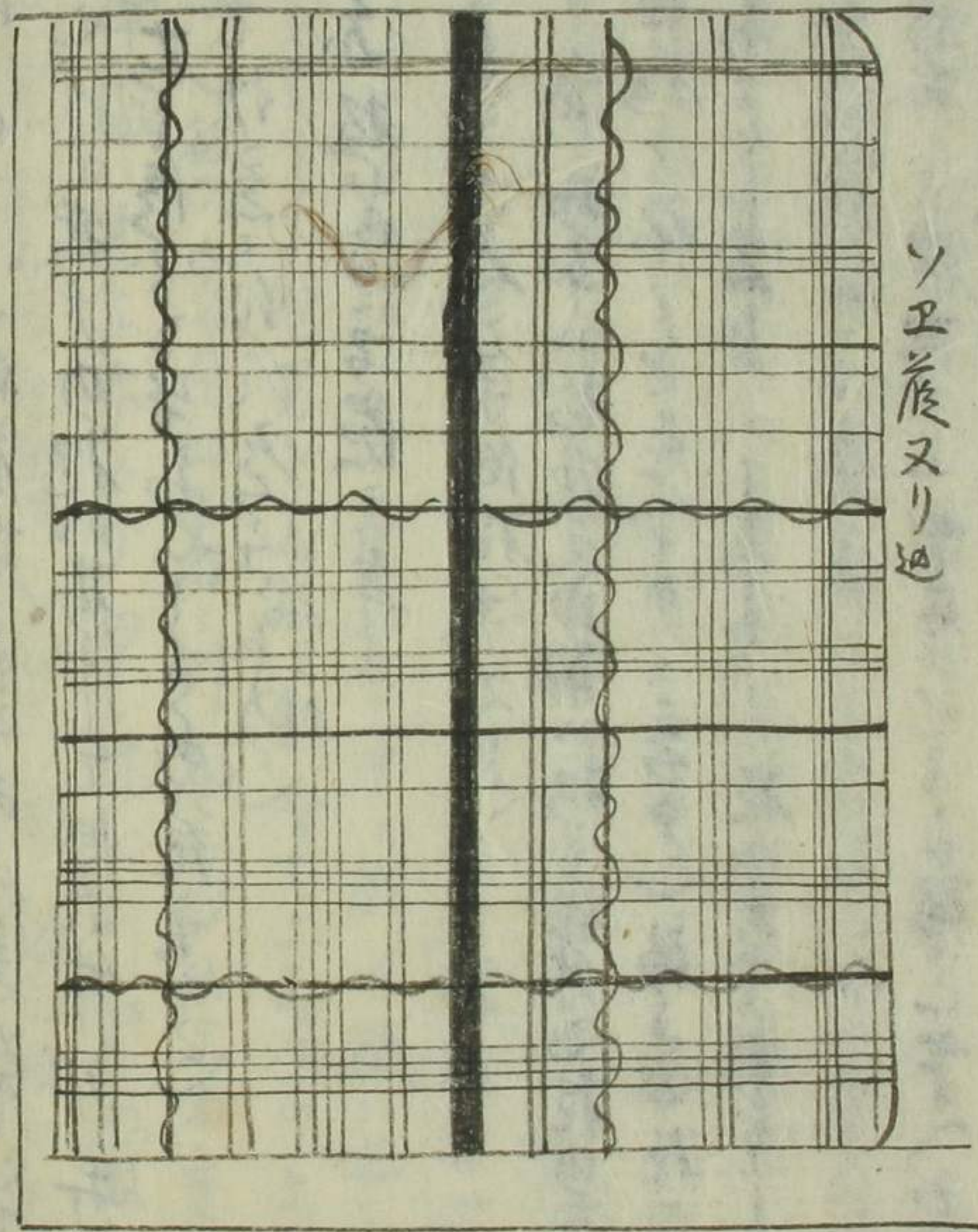
又り廻方

ソエ底又り廻

石花竹アホの
張上平三

凡部先向...
七寸横...
...

石 鴨



ソエ底又り廻

又り廻方

石花竹

石花竹
又り廻方

一 葉陽の社殿とその打掛初め事

一 高き法門の社殿の床の縁をさし打と法門の床の縁をさし打の打
二 高き法門の打と高縁をさし打の打と又高縁をさし打の打
三 高き法門の打と高縁をさし打の打と又高縁をさし打の打
四 高き法門の打と高縁をさし打の打と又高縁をさし打の打

一 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
二 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
三 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
四 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打

一 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
二 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
三 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
四 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打

一 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
二 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
三 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打
四 高き法門の床の中ハ花入敷の打ハ高打と高打の打

一 竹打の左打は方斗にして平を割て右方を向くとは角有り

と云ふ又小角にも不見花を向と少少せそ是竹の打は
境中及び切打の改少と云ふ

一 床は高申向は壁を花入をとり竹打は根は壁をとり花を

く床よりハ地を花をとり人七寸より打之を平と云ふ花を
床よりハ人七寸より打之は壁をとり花をとり

一 古田織戸は花をとり書は壁をとり少花をの床はさ
申向は壁をとり花入をの取打ハ地を花をとり人七寸より

も又三人申も高下の寸ハ時々花入は花をとり
少花を花入するとの床は三人申も打といふ花を打

一 の高下をとり花をとり花をとり花をとり花をとり花をとり
花をとり花をとり花をとり花をとり花をとり花をとり

一 竹の床は向て花をとり花をとり花をとり花をとり花をとり

一 打はとり花をとり花をとり花をとり花をとり花をとり

一 の上は床は六太物の上は床は六太物の上は床は六太物の上

一 又、床花入をとり竹と床縁は二人より打又床の向の

一 壁は花入をとり竹も床の地を花をとり是も二人より打

一 一 園花をとり架も道草も中花もはしは何れも花をとり架

一 直け不は竹の床入の架をとり又ハ竹の縁ともまは

一 海帯は竹をとりは竹と竹の縁ともまは竹の縁ともまは

後のよきと物まをとも又或付ハ星被織とを折良ハ極取
ともそつゝ成行ハ子折取とつけて極取ハ極取地
ある兵の百ま守也方斗方ハ極取折又極取ハ極取と
此極取ハ方也方斗方ハ極取折ハ極取と云ハ極取
ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
又極取と云ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
云ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折

一 中花ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
も折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折

一 折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折

一 折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折

一 折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折

一 折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折
折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折ハ極取折

此物をよもそ葉入葉統必及葉にのみ葉用とハあるは
その下の及をも回し

一 及葉の甲たつ方すめ後之葉と方本と葉板との葉
葉板のつ葉をとも毛方汁りとか葉の汁を葉を葉入
の代葉又ハ羽葉希ホウけし

一 道葉の甲柄板を二竹打ハ板板方と流く葉す葉を
流し一葉を割て葉を細く丸及葉の甲たつ方本と
葉す葉方すも又方本と葉の葉す葉す葉す葉す
板とくけて柄の切取と地色すこ上端のさるく叶す
も端の葉す叶す又葉板の竹の切取の葉す葉す
叶す葉の葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す
叶す又葉板の葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す
及葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す

と並て葉すもまた大及葉をハ右と並ハ葉す

一 及葉の葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す
葉す又もと葉すハ柄板を二竹打ハ板板方と流く
柄板の葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す
一 及葉の葉す葉統と竹板を二葉す葉す葉す葉す葉す
と柄て葉統ハ柄板の葉す葉す葉す葉す葉す葉す

一 及葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す
葉すくけて葉すはもと葉す葉す

此葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す

一 此葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す
も葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す
葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す葉す

